

1年 年間授業時数：140時間

2年 年間授業時数：140時間

3年 年間授業時数：140時間

## 学習目標

- 1 言葉を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- 2 思考力や想像力を養い、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- 3 国語に対する認識を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。

### 第1学年の目標（何ができるようになるか）

#### 育成する資質・能力

- |  |                 |
|--|-----------------|
| 1 漢字検定4級程度の漢字の読み書きができる。                              | [知識・技能]         |
| 2 口語文法の学習や語彙学習を通して、語感を磨き語彙を増やすことができる。                | [知識・技能]         |
| 3 古文・漢文の名歌、名文に触れたり、暗唱したりすることで、古典の世界に親しむ。             | [知識・技能]         |
| 4 楷書、かなの基礎的な書き方を理解して、毛筆・硬筆で書くことができる。                 | [知識・技能]         |
| 5 目的や場面に応じ、聞き手を意識した上で、根拠を明示しながら話したり、話し合ったりすることができる。  | [思考・判断・表現]      |
| 6 目的や意図に応じ、読み手を意識した上で、文章構成や表現技法を工夫しながら書くことができる。      | [思考・判断・表現]      |
| 7 さまざまな文章を読み、的確に内容を理解した上で、自分の考えを深めたり、伝え合ったりすることができる。 | [思考・判断・表現]      |
| 8 読書の記録をつけることで、読書の習慣を身に付けることができる。                    | [知識・技能]         |
| 9 国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養うことができる。                      | [主体的に学習に取り組む態度] |

### 第2学年の目標（何ができるようになるか）

#### 育成する資質・能力

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 漢字検定3級程度の漢字の読み書きができる。                               | [知識・技能]         |
| 2 日常生活や周囲の身近な話題について報告や紹介をしたりそれらを聞いたりして質問や助言、対話や討論を行う。 | [知識・技能]         |
| 3 古文・漢文の名歌、名文に触れたり、暗唱したりすることで、古典の世界に親しむ。              | [知識・技能]         |
| 4 楷書・かな・行書の基本を知って、毛・硬筆で書く。                            | [知識・技能]         |
| 5 様々な種類の文章を音読・朗読したり、文章と図表等との関連を考えたりしながら、説明や記録の文章を読む。  | [思考・判断・表現]      |
| 6 目的や意図に応じ、読み手を意識した上で、文章構成や論理構成、表現技法を工夫しながら書くことができる。  | [思考・判断・表現]      |
| 7 他者と話し合う中で、自分の考えを深めたり、伝え合ったりすることができる。                | [思考・判断・表現]      |
| 8 読書の記録をつけることで、読書の習慣を身に付けることができる。                     | [知識・技能]         |
| 9 国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養うことができる。                       | [主体的に学習に取り組む態度] |

第3学年の目標（何ができるようになるか）

育成する資質・能力	
1 漢字検定準2級程度の漢字の読み書きができる。	[知識・技能]
2 日常生活や周囲の身近な話題について報告や紹介をしたりそれらを聞いたりして質問や助言、対話や討論を行う	[知識・技能]
3 古文・漢文の名歌、名文に触れたり、暗唱したりすることで、古典の世界に親しむ。 [知識・技能]	
4 楷書・かな・行書の基本を知って、毛・硬筆で書く。	
5 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えつつ、考えを広げたり深めたりして自分の意見をもつことができる。	[思考・判断・表現]
6 目的や意図に応じ、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	[思考・判断・表現]
7 他者と話し合う中で、自分の考えを深めたり、伝え合ったりすることができる。	[思考・判断・表現]
8 読書の記録をつけることで、読書の習慣を身に付けることができる。	[知識・技能]
9 国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養うことができる。	[主体的に学習に取り組む態度]

学習方法（どのように学ぶか）

- 1 本時の目標を理解した上で、教材の内容・テーマについて解説や説明を聞き理解する。
- 2 発問に答えたり、話し合ったりして言語活動を豊かなものにし、学習内容への理解を深める。【対話的な学び】
- 3 理解した内容や必要事項をノート・プリントに記入し、不明な点は質問する。【主体的な学び】
- 4 本時の目標に戻り、学んだ内容を振り返り、整理してまとめる。【深い学び】
- 5 授業の前後に必要なに応じて行われる小テストなどで学習内容を再確認する。

評価の観点・方法

観点① 主体的に学習に取り組む態度	国語に対する関心を持ち、進んで話し合ったり書いたり、読書に親しんだり、言葉に対して粘り強く向き合おうとしている。						
観点② 思考・判断・表現	A. 「話すこと・聞くこと」において、自分や相手の考えを大切に、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり、話の内容を的確に聞き取ったりする。						
	B. 「書くこと」において、必要な材料を収集して自分の考えをまとめ、相手や目的に応じ、叙述の仕方などを工夫して、読みやすく分かりやすい文章を書く。						
	C. 「読むこと」において、様々な種類の文章を読み、文章の構成や展開を捉えて内容を的確に理解し、自分のものの見方や考え方に活かす。						
観点③ 知識・技能	ア. 音声、語句、語彙、文法、漢字などの国語に関する基礎的な事項や国語の特質について理解し、活かすことができる知識として身に付けている。						
	イ. 話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、情報と情報の関係を明確にして話や文章で表現したりしている。						
	ウ. 楷書・仮名・行書の書き方を理解し、字形を整え、文字の大きさ、配列・配置に気を付けて書いている。						
評価の方法\観点	①	②A	②B	②C	③ア	③イ	③ウ
授業観察	◎	◎	○	○	○	◎	◎
課題などの提出状況と取り組み	◎	◎	◎	○	○	○	◎
小テスト	○	○	○	◎	◎	○	○
定期考査、課題テスト	○	○	◎	◎	◎	◎	○

学習アドバイス

- ・（自宅）教科書や教材を音読したり、言葉の読み方や意味を調べたり、漢字練習をしたりしておこう。
- ・（授業）黒板に書いてあることを写すだけでなく、先生の話や友達の意見をしっかりと聞いて書き込んだり、自分の考えをまとめたりして、自分だけのノートを作り上げよう。
- ・（再び自宅）その日のノートやプリントをもう一度よく見直し、分からないところは翌日質問しよう。

## 第1学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：国語1（光村図書）、中学書写（教育出版）

副教材：これからの国語シリーズ 実践文字カトリプルチェック、中学国文法、国語便覧、スタディサプリ

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
(通年)	<p><b>【知識・技能】</b> (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字検定4級程度の漢字の読み書きに習熟する。</li> <li>口語文法を理解している。</li> <li>楷書、かな、行書の基礎的な書き方を理解して、毛筆・硬筆で書く。</li> </ul> <p><b>【主体的に取り組む態度】</b> (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで読書をする態度を身につけようとしている。</li> </ul>		
1 学 期	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図表を含む文章を読んで、意見と根拠、情報と情報との関係について理解する。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。</li> <li>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に考えることができる。</li> </ul>	<p><b>文学</b> 西加奈子「シンシュン」</p> <p><b>説明</b> 「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」</p> <p><b>表現</b> 「書店POPを創ろう」</p> <p><b>古典</b> 「五十音といろは歌」 「百人一首（一文字決まり）」</p> <p><b>言語</b> 「言葉の単位」「文の成分」 「漢字トレーニング4級」</p> <p><b>書写</b> 「いろは歌」「百人一首」</p>	
2 学 期	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古文を音読・暗唱し、古典の世界に親しむ。</li> <li>比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使う。</li> <li>科学的な文章を読み、情報と情報との関係について理解する。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>根拠を明確にしながらか、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。</li> </ul>	<p><b>文学</b> 米倉斉加年「大人になれなかった弟たちに…」</p> <p><b>表現</b> 「詩の世界」「私の好きな百人一首」</p> <p><b>説明</b> 「比喩で広がる言葉の世界」 「『言葉』をもつ鳥、シジウカラ」</p> <p><b>古典</b> 「古典の世界」「百人一首(二文字決まり)」</p> <p><b>言語</b> 「自立語と付属語」「品詞分類」 「漢字トレーニング4級」</p> <p><b>書写</b> 「決意」「百人一首」</p>	
3 学 期	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、辞書的な意味と文脈上の意味との関係を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。</li> <li>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。</li> </ul>	<p><b>文学</b> ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」</p> <p><b>説明</b> 「『不便』の価値を見つめ直す」 「幻の魚は生きていた」</p> <p><b>古典</b> 「百人一首(三文字決まり)」 「故事成語」</p> <p><b>言語</b> 「体言 名詞」「用言 動詞」 「漢字トレーニング4級」</p> <p><b>書写</b> 「百人一首」</p> <p><b>表現</b> 「俳句の創作」</p>	

## 第2学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：国語2（光村図書）、中学書写（教育出版）

副教材：しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング、中学国文法、国語便覧、スタディサプリ

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
(通年)	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字検定3級程度の漢字の読み書きに習熟する。</li> <li>原因と結果、意見と根拠などの情報と情報の関係について理解している。</li> <li>比較や分類の仕方、引用の仕方や出典の示し方を理解し、適切に用いる。</li> <li>漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して書く。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書を生活に役立てる態度を身につける。</li> </ul>		
1 学 期	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉について論じられた文章を読み、言葉の働きに関する理解を深める。</li> <li>古典の文章を朗読して、古典の世界に親しむ。</li> <li>単語の活用、助詞・助動詞の働き、文の成分の順序や照応、敬語の働きなどを理解している。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言動や心情に注意して読み、作品に現れているものの見方や考え方について自分の考えをもつ。</li> <li>複数の情報を整理したり結び付けたりしながら、文章の内容を解釈する。</li> </ul>	<p><b>文学</b> 椎名誠「アイスプラネット」 向田邦子「字のない葉書」 三浦哲郎「盆土産」</p> <p><b>評論</b> 大岡信「言葉の力」 池上彰「自分で考える時間をもとう」</p> <p><b>表現</b> 「意見文を書く」</p> <p><b>古典</b> 「百人一首(二文字決まりその一)」 「古事記」</p> <p><b>言語</b> 「用言」「連体詞」「副詞」「接続詞」「感動詞」 「助詞」「助動詞」「敬語」 「漢字トレーニング3級」</p> <p><b>書写</b> 「楷書の応用」</p>	
2 学 期	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典文法における動詞の活用について理解している。</li> <li>訓読のきまりを理解し、訓点にしたがって、訓読文を正しく読み下す。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>根拠となる事例に着目して、筆者の主張や文章の構成、表現の仕方を捉えることができる。</li> <li>場面の展開を捉え、描写や会話から登場人物の人物像を理解するとともに、作品の魅力について語り合う。</li> <li>作者のものの見方・考え方に対して、自分のそれと比較して、自分の考えを広げたり深めたりする。</li> <li>漢詩に歌われた情景や心情について、読み味わう。</li> </ul>	<p><b>文学</b> 太宰治「走れメロス」</p> <p><b>評論</b> 沼田英治「クマゼミ増加の原因を探る」 安田善憲「モアイは語る」</p> <p><b>表現</b> 「研修旅行での短歌の創作」 栗木京子「短歌に親しむ」 「短歌を味わう」「俳句の創作」</p> <p><b>古典</b> 「百人一首(二文字決まりその二)」 「古典文法入門」 「万葉集」 「枕草子」 石川忠久「漢詩の風景」</p> <p><b>言語</b> 「漢字トレーニング3級」</p> <p><b>書写</b> 「書き初めのポイント」 「南多摩万葉集（研修旅行の短歌）」</p>	
3 学 期	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典文法における動詞の活用の種類について理解している。</li> <li>現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える。</li> </ul>	<p><b>文学</b> 菊池寛「形」</p> <p><b>評論</b> 布施英利「君は『最後の晩餐』を知っているか」 藤原えみり「『最後の晩餐』の新しさ」</p> <p><b>古典</b> 「扇の的一平家物語から」 「徒然草」 「動詞」 「漢文入門」</p> <p><b>言語</b> 「漢字トレーニング3級」</p> <p><b>書写</b> 「古典の名文(硬筆)枕草子・百人一首」</p>	

### 第3学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：国語3（光村図書）、中学書写（教育出版）

副教材：しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング、中学国文法、国語便覧  
新しい古典文法、スタディサプリ

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
(通年)	<p><b>【知識・技能】</b>（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字検定準2級程度の漢字の読み書に習熟する。</li> <li>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。</li> <li>情報の信頼性の確かめ方を理解し、適切に用いる。</li> <li>身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書を通して自己を向上させようとしている。</li> </ul>		
1 学 期	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典文法における動詞や形容詞、形容動詞について理解し、活用の種類や活用形を正しく指摘する。</li> <li>古文において、古今異義語の意味や主語に注意して作品の内容を理解する。</li> </ul> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の文章を比較し、文章にあらわれているものの見方や考え方、文章の構成や論理の展開、表現の効果について評価する。</li> <li>「現在」と「回想」の部分を読み分け、時間の順序を整理した上で、登場人物の設定を捉えたり、情景や心情を読み深めたりする。</li> </ul>	<p><b>文学</b> 井上ひさし「握手」</p> <p><b>論理</b> 山極寿一「作られた『物語』を超えて」 羽生善治「人工知能との未来」 松原仁「人間と人工知能と創造性」</p> <p><b>表現</b> 多角的に分析して書こう</p> <p><b>古典</b> 「宇治拾遺物語」 「動詞」※1 「形容詞」 「形容動詞」</p> <p><b>言語</b> 漢字トレーニング準2級</p> <p><b>書写</b> 文字の大きさ・配列・配置に気を付けて書く</p>	※1 「動詞」については、第2学年の既習事項についても取り扱う。
2 学 期	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典文法における助動詞の「接続」「活用」とは何かを正しく説明でき、一部の助動詞について、接続・活用・意味を理解している。</li> <li>訓読のきまりを理解し、助動詞や助詞、置き字に注意して書き下し文にする。</li> </ul> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「対比」「主張一具体例」の構造を捉え、論理の展開を捉えて、説明する。</li> <li>日常生活や自分の生活を振り返り、作品に表れている考えが当てはまる体験や伝聞を発表する。</li> </ul>	<p><b>文学</b> 魯迅「故郷」</p> <p><b>論理</b> 山崎正和「水の東西」 池内了「マンモスの歩いた道」</p> <p><b>表現</b> 説得力のある構成を考えよう 合意形成に向けて話し合おう</p> <p><b>古典</b> 「用言の復習」「助動詞」※2 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」 「漢文入門」※3 「論語」</p> <p><b>言語</b> 漢字トレーニング準2級・2級</p> <p><b>書写</b> 行書の基本を学ぶ 席書きに向けて</p>	<p>※2 「助動詞」については、主要なものを取り扱う。</p> <p>※3 「漢文入門」については、第2学年の既習事項についても取り扱う。</p>
3 学 期	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一部の助動詞について、接続・活用・意味を理解している。</li> <li>再読文字の読みや意味を理解し、書き下し文にした上で正しく現代語訳する。</li> </ul> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>論理の展開や要旨を的確に捉えて、評価する。</li> <li>時代背景や筆者の状況を捉えなら作品を読み、国際社会について自分の考えをもつ。</li> <li>故事成語に関する平易な漢文を読み、「寓言」の構造を捉えて、話者の意図を読み取る。</li> </ul>	<p><b>文学</b> 森鷗外「高瀬舟」</p> <p><b>表現</b> 情報を読み取って文章を書こう</p> <p><b>古典</b> 「助動詞の復習」 「奥の細道」 「再読文字」 「故事成語」</p> <p><b>言語</b> 漢字トレーニング2級</p> <p><b>書写</b> 席書き</p>	

6年間で目指す学習到達目標

- (1) 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- (2) 思考力や想像力を養い、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- (3) 国語に対する認識を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。

学年 学習 ステージ	前期課程			後期課程		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	<b>基礎・基本</b>					
	<b>文学</b>					
	場面展開や情景描写に注意して読み、心情の変化について描写を基に考える。	描写を基に登場人物の心情の変化や人物像を理解する。作品の魅力を考える。	時代背景や筆者の状況を考慮して作品を読む。自分の考えをもつ。	<b>充実・伸張</b>		
	<b>論理</b>		段落の関係に注意し根拠を確かめながら構成や主張、筆者の考え方を捉える。			
	<b>古典</b>					
	五十音や百人一首、故事成語を学ぶ。	古典文法と漢文入門、「万葉集」や「平家物語」を学ぶ。	用言や助動詞、三大和歌集の和歌や「奥の細道」を学ぶ。	<b>応用・達成</b>		
	<b>言語</b>		漢字検定準2級から2級程度の漢字に習熟する。			
	<b>書写</b>		口語文法の品詞分類や用言の活用を学習する。漢字検定4級程度の漢字に習熟する。	口語文法の助動詞や助詞等を学習する。また、漢字検定3級程度の漢字に習熟する。	〈総合国語 4単位〉【必修選択】 共通テストや私大入試に対応できるように問題演習を行う。	〈古典演習 2単位〉【自由選択】 国公立二次試験対策問題演習を行う。
<b>履修</b>	50音や百人一首、故事成語を学ぶ。			5年古典探究は習熟度別少人数授業。		
<b>特記事項</b>	5年古典探究は習熟度別少人数授業。					

1年 年間授業時数：105時間

2年 年間授業時数：105時間

3年 年間授業時数：140時間

## 学習目標

- 1 広い視野で、社会の様々な出来事を読み取る力を身に付ける。
- 2 資料を客観的に読み取り、いろいろな角度から分析する力を養う。
- 3 ものごとを深く見詰め、自らの考えをもち、公正に判断できる力を育む。

### 第1学年の目標（何ができるようになるか）

#### 育成する資質・能力

##### 〈地理的分野〉

- 1 我が国の国土及び世界の諸地域の諸事象や地域的特色を理解する。 [知識・技能]
- 2 調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。 [知識・技能]
- 3 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察する。 [思考力・判断力・表現力]
- 4 課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力を養う。 [思考力・判断力・表現力]
- 5 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 [学びに向かう力・人間性]
- 6 多面的・多角的な考察や我が国の国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。 [学びに向かう力・人間性]

##### 〈歴史的分野〉

- 1 歴史に関する興味・関心を高め、原始から現代までの歴史を理解する。 [知識・技能]
- 2 歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代との関連において把握し、そのかわり方を自分の言葉で説明する力を養う。 [思考力・判断力・表現力]
- 3 日本と諸外国との交流を通し、歴史的な出来事を広い視野にたって理解する。 [知識・技能]
- 4 歴史的な出来事を理解したうえで、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、考察し、よりよい未来に向かって自ら行動する姿勢をもてるようにする。 [学びに向かう力・人間性]

### 第2学年の目標（何ができるようになるか）

#### 育成する資質・能力

##### 〈地理的分野〉

- 1 我が国の国土及び世界の諸地域の諸事象や地域的特色を理解する。 [知識・技能]
- 2 調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。 [知識・技能]
- 3 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察する。 [思考力・判断力・表現力]
- 4 課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力を養う。 [思考力・判断力・表現力]
- 5 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 [学びに向かう力・人間性]
- 6 多面的・多角的な考察や我が国の国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。 [学びに向かう力・人間性]

##### 〈歴史的分野〉

- 1 歴史に関する興味・関心を高め、原始から現代までの歴史を理解する。 [知識・技能]
- 2 歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代との関連において把握し、そのかわり方を自分の言葉で説明する力を養う。 [思考力・判断力・表現力]
- 3 日本と諸外国との交流を通し、歴史的な出来事を広い視野にたって理解する。 [知識・技能]
- 4 歴史的な出来事を理解したうえで、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、考察し、よりよい未来に向かって自ら行動する姿勢をもてるようにする。 [学びに向かう力・人間性]

第3学年の目標（何ができるようになるか）

育成する資質・能力

〈歴史的分野〉

- 1 歴史に関する興味・関心を高め、原始から現代までの歴史を理解する。 [知識・技能]
- 2 歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代との関連において把握し、そのかわり方を自分の言葉で説明する力を養う。 [思考力・判断力・表現力]
- 3 日本と諸外国との交流を通し、歴史的な出来事を広い視野にたって理解する。 [知識・技能]
- 4 歴史的な出来事を理解したうえで、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、考察し、よりよい未来に向かって自ら行動する姿勢をもてるようにする。 [学びに向かう力・人間性]

〈公民的分野〉

- 1 国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を養う。 [知識・技能]
- 2 民主政治の意義や諸原理を理解し、社会問題に着目して自ら考えようとする態度を養う。 [思考力・判断力・表現力]
- 3 世界平和と人類の福祉増大のため、各国民が協力し合う大切さを自覚する。 [学びに向かう力・人間性]
- 4 様々な資料を多面的・多角的に考察して、自ら判断し、適切に表現する力を養う。 [思考力・判断力・表現力]

学習方法（どのように学ぶか）

- 1 教科書・副教材などで、次に学ぶ内容を予習する。
- 2 授業に意欲的に参加し、理解する。【対話的な学び】
- 3 おさらい→反復→考察の流れで復習する。【主体的な学び】

おさらい 理解したことを確認する。

反復 得た知識を整理し、定着させる。

考察 学習した事柄同士を結び付けて様々な角度から考えを深めてみる。【深い学び】

評価の観点・方法

観点① 知識・技能	我が国の国土と歴史や現代の政治・経済・国際関係等を理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。 [知識・技能]		
観点② 思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 [思考力・判断力・表現力]		
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。 [学びに向かう力・人間性]		
評価の方法\観点	①	②	③
学習状況観察	○	○	◎
課題などへの取り組みと提出物			◎
授業内テスト	◎	◎	
定期考査	◎	◎	

学習のアドバイス

- 地図帳や白地図・副教材を使って、学習した事柄をおさらいしてみよう。
- 学習した事柄同士を結び付けて、考えを深めてみよう。
- 用語の暗記ばかりでなく、言葉の意味を自分の言葉で説明できるようにしよう。それができれば、暗記だけで定着できなかった内容が頭に入るようになるでしょう。
- 新聞やテレビのニュースに関心を持ち、それらを活用してみよう。
- 歴史的な事象が起こった場所について、常に確認する習慣をつけよう。
- 学習した事柄同士を結び付けて、考えを深めてみよう。
- 博物館や資料館・公共施設を訪問し、実物や本物に触れてみよう。



第1学年の学習内容（何を学ぶか）

〈地理的分野〉

教科書：新しい社会 地理（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院）

副教材：ニュースタイルビジュアル地理（世界・日本）（とうほう）

〈歴史的分野〉

教科書：中学歴史 日本と世界（山川出版社）

副教材：みつけよう？！歴史資料（とうほう）、中学歴史ノート（上）（下）（山川出版社）

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記 事項他
1 学 期	地理的分野 【学びに向かう力・人間性】（通年） ○地域的な課題を追究し、解決しようとする態度を養うとともに、多様な文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。 【知識・技能】 ○緯度や経度など地球に関することを学ぶ。 【思考力・判断力・表現力】 ○絶対的位置と相対的位置について学び、相対的位置が言葉にどのような影響を与えているか考察する	教材（通年） 教科書・副教材・教員が作成するプリント 学習内容 ○世界の姿 地球について学び、世界の国を概観する。 ○経度を基にして、時差を求めたり、緯度を基に太陽高度を求めたりする。	
	歴史的分野 【学びに向かう力・人間性】（通年） ○過去を学ぶことで、現在の日本や世界の在り方について考察し、よりよい未来に向かって自ら行動する姿勢をもてるようにする。 【知識・技能】 ○人類の出現から平安時代までの歴史の展開を学ぶ。 【思考力・判断力・表現力】 ○諸文明の特徴とつながりを理解し、日本列島にどのように文明がもたらされたかを考察する。	教材（通年） 教科書・副教材・教員が作成するプリント 学習内容 ○古代までの日本 人類の出現と世界の諸文明を学び、縄文文化と弥生文化の特徴を把握する。 東アジア諸地域との関わりの中で、律令国家の形成と平安時代の歴史を理解する。	
2 学 期	地理的分野 【知識・技能】 ○日本の領域と領土問題について学ぶ。 ○気候の違いとそれに伴う生活の違い 【思考力・判断力・表現力】 ○気候が人間の生活に与える影響について考察する。	学習内容 ○日本の領域と領土問題 ○世界各地の人々の生活と環境 世界各地の気候のデータをグラフ化する。	
	歴史的分野 【知識・技能】 ○中世社会の成立について学ぶ。 ○武家社会の形成の過程を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ○武士登場の理由について考察し、内容を発表する ○貴族社会と武家社会の特徴を比較できる。	学習内容 ○古代末期の日本 荘園の成立・院政・武士の登場・平氏政権 ○中世の日本 鎌倉幕府の歴史と特徴を学ぶ。 武士・民衆の生活・鎌倉文化について学ぶ	
3 学 期	地理的分野 【知識・技能】 ○州の自然と社会との関わりについて学ぶ。 ○世界各地を地域調査する方法について学ぶ。 【思考力・判断力・表現力】 ○身近な地域の調査を行い、考察も含めて発表する。 ○なぜそのような地域区分がなされているのか考える。	学習内容 ○世界の諸地域 アジア州、ヨーロッパ州について学ぶ。 それぞれの地域のデータを可視化する技法を学ぶ。	
	歴史的分野 【知識・技能】 ○東アジアと日本の国際関係を理解する。 ○室町幕府の成立から戦国への時代の流れを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ○倭寇が東アジア諸地域に与えた影響を考察する。 ○室町から戦国への時代の変化の理由を考察する。	学習内容 ○中世の日本 元寇と鎌倉幕府の滅亡・建武の新政・室町幕府の成立を学び、武家社会がどのように変容していったのかを考察する。 ○倭寇と勘合貿易、室町時代の社会と経済の発展について理解する。	

## 第2学年の学習内容（何を学ぶか）

### 〈地理的分野〉

教科書：新しい社会 地理（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院）

副教材：ニューススタイルビジュアル地理（世界・日本）（とうほう）

### 〈歴史的分野〉

教科書：中学歴史 日本と世界（山川出版社）

副教材：みつけよう？と！歴史資料（とうほう）、中学歴史ノート（上）（下）（山川出版社）

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記 事項他
1 学 期	地理的分野 【学びに向かう力・人間性】（通年） ○地域的な課題を追究し、解決しようとする態度を養うとともに、多様な文化を尊重することの大切さについての自覚を深め、追究しようとしている。 【知識・技能】 ○自然地理（地形と気候）について理解する。 ○日本の人口と産業について基礎的なことを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ○過去の自然災害について学び、災害から身を守るためにできることを考察し、発表する。	教材（通年） 教科書・副教材・教員が作成するプリント 学習内容 ○アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州について学ぶ。 ○さまざまな観点から日本の姿を学ぶ。 ○日本の地形や気候について学ぶ。 ○自然災害を防ぐために、人間はどのような技術を生み出してきたのか学ぶ。 ○過去のデータから将来の人口を予測する。	
	歴史的分野 【学びに向かう力・人間性】（通年） ○過去を学ぶことで、現在の日本や世界の在り方について考察し、よりよい未来に向かって自ら行動する姿勢をもてるようにする。 【知識・技能】 ○ルネサンス・宗教改革・大航海時代について学ぶ。 ○信長と秀吉による統一事業の概要と桃山文化を学ぶ。 ○江戸幕府の政治の特徴について学ぶ。 【思考力・判断力・表現力】 ○大航海時代が世界史に与えた影響について考察する。	教材（通年） 教科書・副教材・教員が作成するプリント 学習内容 ○一体化に向かう世界 ヨーロッパ近世の歴史を学び、世界の一体化の始まりについて理解する。 ○近世の日本 ヨーロッパ人との交流が日本社会に与えた影響、織豊政権の全国統一、江戸幕府はどのような政治を行ったのかを学ぶ。	
2 学 期	地理的分野 【知識・技能】 ○日本の地誌について基礎的な知識を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ○それぞれの地域の特色をかたちづくってきたものになるものは何かを考え、表現する。	学習内容 ○九州、中国・四国、近畿、中部、関東の各地方について学ぶ。 ○地域の特色の形成過程と自然条件の関係について考察する。	
	歴史的分野 【知識・技能】 ○幕末の動乱と明治維新について学ぶ。 ○市民革命と産業革命について理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ○市民革命と産業革命が世界各地と日本に与えた影響を考え、説明する。	学習内容 ○近代の日本と国際関係 欧米諸国の近代化と日本やアジア諸国との関わりを学ぶ。 明治維新後の富国強兵と殖産興業、文明開化について学ぶ。	
3 学 期	地理的分野 【知識・技能】 ○日本の地誌について基礎的な知識を理解する。 ○身近な地域の地域調査の方法について理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ○1年で行った地域調査の内容を見直し、発表する。	学習内容 ○関東、東北、北海道について学ぶ。 ○統計調査を地図化する方法について学ぶ。 ○視点を変えて見直してみると、新たにみえてくるものがないか考察する。	
	歴史的分野 【知識・技能】 ○帝国主義時代の世界と日本について理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ○日清・日露戦争のふたつの戦争が日本の政治・経済や社会に与えた影響を理解する。 ○大正デモクラシーの動きを、それまでの政治制度との比較を通して説明する。	学習内容 ○日清・日露戦争と日本の大陸進出 ○議会の開設と条約改正 大正デモクラシーの動きを学ぶ。 ○近代日本の産業と文化 産業革命の進展と大衆文化の発展	

### 第3学年の学習内容（何を学ぶか）

#### 【歴史的分野】

教科書：中学歴史 日本と世界（山川出版社）

副教材：みつけよう？と！歴史資料（とうほう）、中学歴史ノート（上）（下）（山川出版社）

#### 【公民的分野】

教科書：中学社会 公民 ともに生きる（教育出版）

副教材：新編 テーマ別資料現代社会2023（とうほう）

ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」基礎編（3・4級対応）（日本ニュース時事能力検定協会）

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容/教材 (何を学ぶか)	特記 事項他
1 学 期	<b>歴史的分野</b> <b>【学びに向かう力・人間性】</b> （通年） ○歴史に関わる諸事象についての課題を多面的に考察し、課題に対して主体的に追究、解決しようとする態度をもてるようにする。 <b>【知識・技能】</b> ○軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 ○敗戦から国家を立て直し、新しい日本の建設が進められたことを理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ○国際協調体制が、恐慌によって一挙に崩れ、ファシズムを生み出した経緯について考察する。	<b>教材</b> （通年） 教科書・副教材・教員が作成するプリント <b>学習内容</b> ○近代の日本と国際関係 欧米諸国の近代化と日本やアジア諸国、明治維新後の富国強兵と殖産興業、文明開化を学ぶ。 ○二つの世界大戦と日本 第一次世界大戦と戦後の国際関係、ロシア革命とアジアの民族運動について学ぶ。 昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動きを学ぶ。 ○現代の日本と世界 GHQの占領政策について学ぶ。 高度経済成長から令和までの歩みを学ぶ。	歴史的分野と公民的分野を並行して学ぶ場合もある。
	<b>公民的分野</b> <b>【学びに向かう力・人間性】</b> （通年） ○現代社会におけるさまざまな課題について関心を持ち、その解決について主体的に追究、解決しようとする態度をもてるようにする。 <b>【知識・技能】</b> ○少子高齢化など、現代社会の諸課題を理解する。 ○現代社会を捉える見方や考え方の基礎を理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ○社会生活における物事の決定過程や、きまりの意義について、身近な生活と関連付けて考察する。	<b>教材</b> （通年） 教科書・副教材・教員が作成するプリント <b>学習内容</b> ○私たちの生活と現代社会 現代社会の特色や、文化の意義や影響について学ぶ。 現代社会を捉える見方や考え方、対立と合意、効率と公正などを学ぶ。	
2 学 期	<b>公民的分野</b> <b>【知識・技能】</b> ○日本国憲法について、制定の流れや基本原則など、基礎的な知識を理解する。 ○国や地方公共団体の政治の仕組みについて基礎的な知識を学び、主権者としてできることを理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ○国や地方の政治的な課題について話し合いを行い、問題事象に対して多面的・多角的に考察する。	<b>学習内容</b> ○個人の尊重と日本国憲法 ・基本的人権の尊重、国民主権、平和主義など憲法の基本原則について学ぶ。 ○私たちの生活と政治 ・国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から学ぶ。	
3 学 期	<b>公民的分野</b> <b>【知識・技能】</b> ○市場経済における価格決定のプロセスや、金融のしくみについて理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ○世界平和に向けた国際連合や国際社会の取り組みの意義や課題について考察する。 ○自分の考えを論述したり、相互に発表したりしながら、現代社会の諸課題について考察する。	<b>学習内容</b> ○私たちの生活と経済 経済の基本的な概念を学ぶ。 ○私たちと国際社会の課題 国際社会における日本の役割や国際貢献のあり方について学ぶ ○テーマを決めてレポートを作成しよう 社会科3分野の学習の成果をふまえ、社会科学学習のまとめとする。	

6年間で目指す学習到達目標<社会科・地歴科・公民科>

- 日本および世界の地理や歴史・文化を深く理解し、国際社会で主体的に生きる自覚と資質を養う。
- 現代社会の諸課題について、自ら考えを提言し、その解決に向けて行動できる能力および主権者に求められる資質を養う。
- 大学入学試験における「知識・理解」の基本事項および「思考力・判断力・思考力」を問う問題に解答できる力を養う。

学年 学習 ステージ	前期課程			後期課程		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	<b>基礎・基本の学習</b> <b>地理的分野</b> ・世界の地域構成 ・世界各地の人びと ・世界の諸地域 世界の様々な特色を 世界地図を活用して 理解する 「総合的な学習の時間」で1年次に 行う地域調査と連携した内容も行う。 <b>歴史的分野</b> ・近世の日本 ・近代の日本と世界 江戸時代から大正まで の歴史の大きな流れを 理解する 日本と諸外国との交流を通し、歴 史的な出来事をグローバルな視点 に立って理解する。			<b>充実伸張の学習</b> <b>※必修科目</b> <地球探究2単位> 地理に理科の内容も とりいれ、現代世界 の地理的現象を探 究していく。 <b>※必修選択</b> 化学との選択 <日本史探究> 日本の歴史を古代史 から学んでいく。 <世界史探究> 世界各地の人類の 歴史を古代史から学 んでいく。		<b>応用達成の学習</b> <b>※必修科目</b> <現代社会 2単位> 政治・経済について発展的内容を学び 主権者としての素養を身につける。 <Pensee 1単位> 現代社会における倫理的・哲学的な課 題に対し自らの思考と他者との討論を通 じて解決策を見出していく。 <b>※必修選択科目(4単位)</b> <世界史B> 古代から学ぶ <日本史B> 5年次の継続 <b>※自由選択科目(2単位)</b> 共通テラ対策の演習が中心 <世界史演習> <日本史演習> <地理演習> <倫政> 国立二次試験と私立の受験対策 <地理発展>
履修				<b>3年の公民的分野で&lt;公共&gt;の内容を移行し            て学習しているために            1単位の履修となる。</b>		
特記 事項	<b>それぞれの分野で、後期課程(高等学校)で学ぶ内容の            一部を移行して実施する。公民的分野に関しては、&lt;公            共&gt;の「私たちと現代社会」の分野を移行して実施する。</b>					

1年 年間授業時数：140時間

2年 年間授業時数：140時間

3年 年間授業時数：140時間



## 学習目標

本校の数学科の目標・・・「活用し、深め、生かそう」

- 内容のつながりを重視し、学習単元を並び替えた教育課程のもと、基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身につけ、数学的な思考力・判断力を育てましょう。
- 数学的な思考力・判断力を育てるために、言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて問題を解決したり、自分の考え方をわかりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合うことができるようになります。
- 数学のよさを知り、数学が生活に役立つことや科学技術と関係などの理解を深め、自分の生活に生かしていくことを考えられるよう心がけましょう。

### 第1学年の目標

- 負の数があることを知ること、文字を使っていろいろな数を表すことができることなどを知り、その必要性和意味をしっかりと理解しましょう。 [知識・技能]
- 図形についての観察や操作、実験などの活動を通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深めるとともに論理的に考え、表現する力を伸ばしましょう。 [思考力・判断力・表現力等]
- 比例や反比例などの関数関係についての理解を深め、その関係を自分の力で見だし、表現し、考察できる力を伸ばしましょう。 [思考力・判断力・表現力等] [学びに向かう力・人間性]
- 方程式や不等式を学習することにより、身近なものの数量関係を数式で表現、考察する力を養う。 [思考力・判断力・表現力等]

### 第2学年の目標

- 観察、操作や実験など行い、基本的な平面図形の性質を見だし、図形の合同について理解し図形についての見方を深め、図形の性質を確かめ論理的に考察し表現できるようになります。 [思考力・判断力・表現力等] [学びに向かう力・人間性]
- 1次関数を深く学び、媒介変数表示や等積変形、場合分けなどをできるようにする。 [思考力・判断力・表現力等]
- 相似な図形を深く理解し、線分比・面積比・体積比などを正確に求められるようにする。 [思考力・判断力・表現力等]
- 式の展開・因数分解を正確にできるようにする。 [知識・技能]


### 第3学年の目標

- 2次方程式の必要性和意味、その解の求め方と意味を理解し、解けるようになります。 [知識・技能]
- 2次関数についての理解を深め、関数の関係にある数量を自分の力で見だし、様々な表現方法を用いて、考察できる力を伸ばしましょう。 [思考力・判断力・表現力等]
- 円周角と中心角の関係など、円の性質を観察や実験などを通して見だし、それが論理的に確かめられるようにする。 [思考力・判断力・表現力等]
- 三平方の定理について理解し平面図形、空間図形でも適用できるようにする。 [思考力・判断力・表現力等]
- 確率の必要性和意味を理解し、確率を用いて不確定な事象をとらえ説明することができるようにする。データの意味を読み取りデータを必要に応じて整理したり、目的に応じた資料を収集しコンピュータを活用して考えたりしながら、表やグラフを整理し、その資料の傾向を読み取ることができるようにする [知識・技能] [学びに向かう力・人間性]

## 学習方法（どのように学ぶか）

前の時間の復習（宿題を必ずやること）→例題による講義・発問【対話的な学び】  
 →類題の演習【主体的な学び】【深い学び】→解答→今日のポイント確認【深い学び】→宿題の確認

## 評価の観点・方法

観点① 学びに向かう力・人間性	数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを事象の参考に進んで活用しようとする。			
観点② 思考力・判断力・表現力等	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身につけ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り、考えを深める。			
観点③ 知識・技能	事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する仕方や推論の方法を身につける。 数量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につける。			
	評価の方法\観点	①	②	③
	学習状況観察	◎	○	
	課題提出	◎	○	○
	課題テスト		○	◎
	授業内テスト（Mathテストなど）		○	◎
	定期考査		◎	◎

## 学習のアドバイス

- ・1年生にとっては、授業の進み方が小学校と比べるととても速いと思います。まずは、予習として教科書を読む程度で構いませんが、その日に何を授業でやるのかを頭の中に入れてきましょう。授業中は、積極的に発言し、お互いの意見を聞き、活発な授業をクラスで作っていきましょう。
- ・授業の内容は予習で理解していると思っても、教科書にない話や自分の理解が不十分なこともあるのでしっかりと聞きましょう。類題の演習では、授業で説明されたポイントをしっかりと理解できているかを確認する時間です。早くできていても間違っている意味がないので、あわてないで取り組みましょう。
- ・授業で分からないところがあれば、授業終了直後か、その日の昼休み・放課後に質問に来てください。また、先生だけではなく、数学が得意な友だちに聞くこともひとつの方法です。聞かれた人は、教えることが自分の理解を確認でき、表現力をつけるチャンスになるので、どうすれば分かってもらえるかを考えて説明してみましょう。
- ・授業のたびに宿題は、欠かさずやること。授業のペースをつかむため、復習するためでもあります。
- ・ほかの教科で宿題が出ます。1時間の授業を大切に、集中して取り組むとよいでしょう。
- ・週明け課題やテスト直しなど、提出物は期限を守って提出すること。

## 第1学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：中学数学1（教育出版）

副教材：体系数学1 代数編・幾何編（数研出版）

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容/教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<p><b>【知識・技能】</b> 正の数と負の数について、具体的な場面での活動を通して理解し、その四則の計算ができる。 文字を用いて関係や法則を式に表現したり、式の意味をよみとったりできるようにするとともに、文字を用いた式の計算ができる。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 方程式・連立方程式について理解し、それを活用することができるようにする。方程式を利用して、問題を解決することができる。</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 「週明け課題」に取り組み、知識・技能・思考力等を定着させる。</p>	<p><b>【代数】正の数と負の数（20）</b> ①正の数と負の数②加法と減法 ③乗法と除法④四則の混じった計算</p> <p><b>【代数】式の計算（18）</b> ①文字式②多項式の計算 ③単項式の乗法と除法 ④式の値⑤文字式の利用</p> <p><b>【代数】1次方程式（10）</b> ①方程式とその解 ②1次方程式の解き方 ③1次方程式の利用</p>	
2 学 期	<p><b>【知識・技能】</b> 不等式について理解し、それを活用できるようにする。方程式を利用して、問題を解決することができる。</p> <p>平面図形についての理解を深めることができるようにするとともに、基本的な図形について、見通しをもって作図することができる。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深めることができる。また、工夫して図形の計量をすることができる。</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 「週明け課題」に取り組み、知識・技能・思考力等を定着させる。</p>	<p><b>【代数】1次方程式（8）</b> ④連立方程式 ⑤連立方程式の利用</p> <p><b>【代数】不等式（12）</b> ①不等式の性質②不等式の解き方③不等式の利用④連立不等式</p> <p><b>【幾何】平面図形（24）</b> ①平面図形の基礎②図形の移動 ③作図④面積と長さ</p> <p><b>【幾何】空間図形（8）</b> ①いろいろな立体 ②空間における平面と直線 ③立体のいろいろな見方</p>	<p>・得点の計算と可能性 (スポーツ・学ぶ)</p> <p>・オリンピックのエンブレムと対称 (精神・観る)</p>
3 学 期	<p><b>【知識・技能】</b> ヒストグラム・四分位範囲・箱ひげ図の必要性和意味を理解すること。コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すこと</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 具体的な事象のなかにある2つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし、表現し、考察することができる。 1次関数について理解を深め、その関係を自分の力で見だし、表現し、考察できる。</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 身近なものを比例・反比例を用いて表現できるようにする。四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断すること。 「週明け課題」に取り組み、知識・技能・思考力等を定着させる。</p>	<p>④立体の表面積と体積</p> <p><b>【幾何】1次関数（18）</b> ①変化と関数 ②比例とそのグラフ ③反比例とそのグラフ ④比例、反比例の利用</p> <p><b>【代数】データの活用（10）</b> ①データの整理 ②データの代表値 ③データの散らばりと四分位範囲</p>	<p>・平均速度とフルマラソンの走破予想時刻 (スポーツ・学ぶ)</p>

## 第2学年の学習内容

教科書：中学数学2（教育出版）

副教材：体系数学1 代数編・幾何編 体系数学2 代数編・幾何編（数研出版）

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	<p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 身近なものについて、1次関数を用いて表現できるようにする。「週明け課題」に取り組み、知識・技能・思考力等を定着させる。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 1次関数について理解を深め、その関係を自分の力で見いだし、表現し、考察できる。 資料の中から必要な情報を抜き出し、適切な表現で伝えることができるようになる。また、資料の傾向に対して代表値を用いることで把握することができる。 観察・操作や実験など行い、基本的な平面図形の性質を見いだし、図形の合同について理解し、図形についての見方を深める。</p>	<p><b>【代数】1次関数（20）</b> ⑤1次関数とそのグラフ ⑥1次関数と方程式 ⑦1次関数の利用</p> <p><b>【幾何】図形の性質と合同（28）</b> ①平行線と角 ②多角形の内角と外角 ③三角形の合同 ④証明</p>	<p>・選手のデータと選択 (スポーツ・する)</p>
2 学 期	<p><b>【知識・技能】</b> 文字を使っていろいろな数を表すことができることなどを知り、その必要性に応じて適切に表現できる。文字を使っていろいろな数を表すことができることなどを知り、その必要性に応じて適切に表現できる。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 図形の性質を確かめ論理的に考察し表現できる。</p>	<p><b>【幾何】三角形と四角形（30）</b> ①二等辺三角形 ②直角三角形の合同 ③平行四辺形 ④平行線と面積 ⑤三角形の辺と角</p> <p><b>【代数】式の計算（12）</b> ①多項式の計算 ②因数分解 ③式の計算の利用</p> <p><b>【代数】平方根（10）</b> ①平方根 ②根号を含む式の計算 ③有理数と無理数 ④近似値と有効数字</p>	
3 学 期	<p><b>【知識・技能】</b> 2次方程式の必要性和意味、その解の求め方と意味を理解し、解ける。数の平方根の必要性和意味を理解し計算し処理することができる。確率の必要性和意味を理解し、確率を用いて不確定な事象をとらえ説明することができる。データの意味を読み取りデータを必要に応じて整理できる。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 図形の相似の意味を理解し、三角形の相似条件を見い出すことができる。平行線と線分の比について調べることができる。相似の考えを活用することができる。平面図形や空間図形の性質を事象の考察に活用できる</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 「週明け課題」に取り組み、知識・技能・思考力等を定着させる。</p>	<p><b>【幾何】図形と相似（20）</b> ①相似な図形 ②三角形の相似条件 ③平行線と線分の比 ④中点連結定理 ⑤相似な図形の面積比・体積比</p> <p><b>【代数】2次方程式（10）</b> ①2次方程式の解き方 ②2次方程式の応用</p> <p><b>【代数】確率と標本調査（10）</b> ①場合の数 ②確率の計算 ③標本調査</p>	<p>・トーナメントの組合せ (スポーツ・学ぶ) ・勝率の計算と戦略 (スポーツ・する)</p>



### 第3学年の学習内容

教科書：中学数学3（教育出版）

副教材：体系数学2 代数編・幾何編（数研出版）

体系数学3 数式・関数編 論理・確率編（数研出版）

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	<p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 2次方程式の必要性和意味，その解の求め方と意味を理解し，解ける。2次関数についての理解を深め，関数の関係にある数量を自分の力で見だし，様々な表現方法を用いて，考察できる。平方根の計算方法を考察し表現すること。円周角の定理について理解し，それを用いることができる。また，円と直線の位置関係によって成り立つ性質を知り，利用することができる。</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 「週明け課題」に取り組み，知識・技能・思考力等を定着させる。</p>	<p><b>【代数】2次方程式（22）</b> ①2次方程式の解き方 ②2次方程式の応用</p> <p><b>【代数】関数<math>y=ax^2</math>（16）</b> ①関数<math>y=ax^2</math> ②関数<math>y=ax^2</math>のグラフ ③関数<math>y=ax^2</math>の値の変化 ④関数<math>y=ax^2</math>の応用 ⑤いろいろな関数</p> <p><b>【幾何】円（14）</b> ①外心と垂心 ②円周角 ③円に接する四角形 ④円の接線 ⑤接線と弦の作る角 ⑥方べきの定理 ⑦2つの円</p>	<p>・投てきの軌跡 （スポーツ・する）</p> <p>・オリンピックエンブレムの作図（文化・する）</p>
2 学 期	<p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 三平方の定理について理解し，それを用いることができるようにする。三平方の定理を利用することができる。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できる。また，式を多面的にみたり処理したりするとともに，1次不等式を事象の考察に活用できる。</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 「週明け課題」に取り組み，知識・技能・思考力等を定着させる。</p>	<p><b>【幾何】三平方の定理（20）</b> ①三平方の定理 ②三平方の定理と平面図形 ③三平方の定理と空間図形</p> <p><b>【数I】数と式（18）</b> ①多項式 ②因数分解 ③多項式の割り算 ④分数式 ⑤実数</p> <p><b>集合と論理（12）</b> ①集合 ②命題と集合 ③命題と証明</p>	
3 学 期	<p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 2次関数とそのグラフについて理解し，2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに，それらを事象の考察に活用できる。</p>	<p><b>【数I】2次関数（40）</b> ①2次関数のグラフ ②関数のグラフの移動 ③2次関数の最大値・最小値 ④2次関数の決定 ⑤2次関数のグラフと方程式 ⑥2次不等式 ⑦2次不等式の応用</p>	

6年間で目指す学習到達目標

- (1) 数学的活動を通して、基礎的な概念や原則・法則についての理解を深める。
- (2) 数学的事象を数理的に考察し、表現する能力を高める。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する力を育てる。

学年 学習 ステージ	前期課程			後期課程			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
履修	基礎・基本の学習			充実伸張の学習			
	<p>&lt;代数的分野&gt; 正の数と負の数 式の計算 1次方程式 連立方程式 不等式 連立不等式(数I) 1次関数</p> <p>1次関数 資料の整理と活用 式の計算 平方根 2次方程式 2次関数 確率と標本調査 数と式(数I) 2次関数(数I)</p>	<p>前期課程 総合演習 ※</p>	<p>&lt;数学I 2+1単位&gt; ※1 三角比 三角関数(数II) 複素数と方程式(数II) 図形と式(数II)</p>	<p>&lt;数学II 3単位&gt; 指数関数・対数関数 微分法と積分法 数IAII B問題演習 関数(数III) 極限(数III) ※数III受講予定者</p>	<p>&lt;数学III 6単位&gt; 複素数平面 式と曲線 微分法 積分法 数III問題演習</p>	<p>&lt;数学II 3単位&gt; 数列 ベクトル 数IAII B問題演習 式と曲線 複素数平面 ※数III受講予定者</p>	<p>&lt;数学β 4単位&gt; 数IAII B問題演習</p>
特記事項	<p>&lt;幾何的分野&gt; 平面図形 空間図形 図形と合同 三角形と四角形 図形と相似 線分の比と計量</p> <p>円 三平方の定理</p> <p>&lt;データ分析&gt; データの分析</p>			<p>&lt;数学A 2単位&gt; 集合と論理 図形の性質 空間図形 場合の数と確率 整数の性質 式と証明(数II)</p>	<p>&lt;MIE 1単位&gt; Number Properties Measurement Equations and Formulae Descriptive Statistics Sets and Venn Diagrams Probability Presentation in English</p>	<p>&lt;数学演習a 2単位&gt; &lt;数学演習b1 2単位&gt; 共通テスト演習</p>	<p>&lt;数学演習b2 2単位&gt; 数IAII B問題演習</p>
特記事項	<p>※ 3年に接続テストを実施。※1 数学Iが2単位、数学IIが1単位 本校の数学の目標・・・「活用し、深め、活かそう」 ・内容のつながりを重視し、基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身に身につけ、数学的な思考力・判断力を伸ばしましょう。 ・言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて問題解決したり、自分の考え方を説明し表現しあうことができるようになりましょう。 ・数学が生活に役立つことや科学技術との関連などの理解を深め、自分の生活に活かそうと心がけましょう。</p>						

1年 年間授業時数：105時間

2年 年間授業時数：140時間（化学70時間、生物70時間）

3年 年間授業時数：140時間（物理70時間、地学70時間）



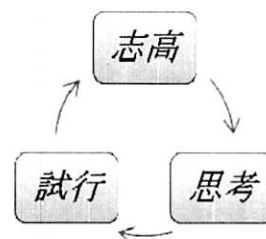
## 学習目標

### 【本校の理科の目標】

理科は日常生活と深くかかわりのある教科です。普段の生活のなかでみられる自然現象の中には、理科の考えを用いて説明することができるものが多くあります。また、身近にある道具や装置の多くが、これまで発見され、応用された科学技術でつくられたものです。理科を通して自然科学について学ぶことは、持続可能な豊かな生活を目指すために必要なことです。南多摩の理科では、自然の事物・現象に目を向けて探究し、理解し、学んだことを活用できるようになることを目指します。

そのために、次の3つシコウを実践し、身につけていくことを目標とします。

- ① **思考**・・・自分の頭で考えること。「なぜなのか？」という疑問を見つけ、その疑問の答え自分の頭で考える努力をしよう。
- ② **試行**・・・実験と観察をすること。自然現象を理解するために仮説を立て、実験や観察を行い、科学的に自然現象を説明できるようにしよう。
- ③ **志高**・・・志を高く持ち、より良いものを目指すこと。スケッチ、グラフの作成、考察などに取り組む際に、仲間と協力してよりよいものを完成させ、自分を磨いていこう。



3つのシコウは、理科の授業だけでなく、フィールドワーク活動（FW）で必要な思考力・観察力・探究力を養うことにもつながります。しっかりと身につけましょう。

『理科』には4つの分野があります。それらは『物理（エネルギー領域）』、『化学（粒子領域）』、『生物（生命領域）』、『地学（地球領域）』です。

第1学年では、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の各領域を1単元ずつ学びます。第2学年では『化学』と『生物』の分野を中心に学び、後期課程で設定されている『化学基礎』と『生物基礎』の学習につなげていきます。第3学年では『物理』と『地学』の分野を中心に学び、後期課程で設定されている『物理基礎』と『地学基礎』の学習につなげていきます。

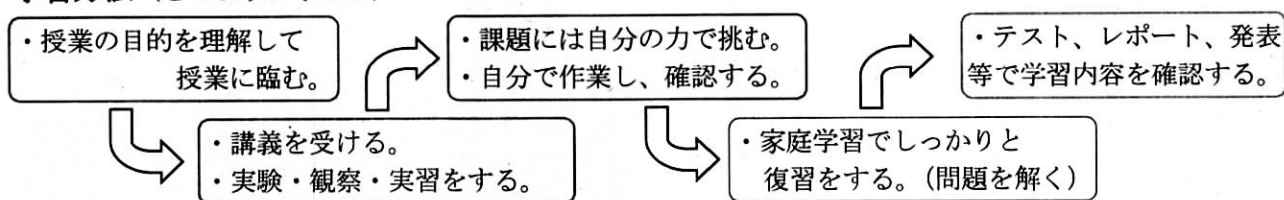
後期課程での学習とスムーズにつながるように、系統的に学ぶことで理解を深めます。例えば、第1学年の授業で抱いた疑問に対する答えが、第2学年や第3学年の授業の中や後期課程の授業の中で見つかるかもしれません。自然界の成り立ちやしくみを関連づけてだんだんと理解できるようになることは、とても楽しいものです。新しいことを学ぶ好奇心や喜びを感じて、理科の授業を受けてください。

なお、第2学年の『化学』と『生物』の授業は、それぞれ週に2時間ずつ行われ、合計週4時間行われます。評価・評定はそれらをまとめて『理科』として算出します。同様に、第3学年の『物理』と『地学』の授業も、それぞれ週に2時間ずつ行われ、合計週4時間行われます。評価・評定はそれらをまとめて『理科』として算出します。

【理科の学習目標】(何ができるようになるか)

- ・授業で学んだことを日常生活の中に見つけたり、日常生活で疑問に思っていたことを授業の中で解決したりする習慣を身につける。 [主体的に学習に取り組む態度]
- ・授業、実験などを通じて、仲間と協同して学習する力を身につける。 [主体的に学習に取り組む態度]
- ・理科の学習に必要な知識、実験・観察・実習の基本技能を身につける。 [知識・技能]
- ・知識を単に覚えるのではなく、なぜその知識になるのかを考える。実験などではレポートなどを通じて結果をまとめ、考察し、必要に応じて発表を行う。 [思考・判断・表現]
- ・第1学年では、物理・化学・生物・地学の各分野の特性を理解して次年度以降の学習につなげるとともに、各分野が理科という一つの教科としてつながっていることを理解する。 [知識・技能] [思考・判断・表現]
- ・第2学年と第3学年では、物理分野・化学分野・生物分野・地学分野の学習内容を深めていき、後期課程につながる学習にする。 [知識・技能] [思考・判断・表現]

学習方法 (どのように学ぶか)



評価の観点と評価の方法

		学習状況 の観察	提出物	授業内 小テスト・ 実技テスト	定期 考査
観点① 知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	○	◎	◎	◎
観点② 思考・判断・表現	事前の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	○	◎	◎	◎
観点③ 主体的に学習に 取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	◎	◎	○	○

学習のアドバイス

- ・理科の授業で学んだことを日常生活の中で探し、確認してみよう。
- ・授業の中で内容をしっかり理解しよう、わからなかったことはその日のうちに先生やクラスメイトに質問をしたり、家で復習をしたりして、解決しよう。
- ・課題やレポートは計画的にゆとりをもって取り組み、必ず期限までに提出しよう。
- ・身の回りの自然現象やニュース、興味をもったことについて、自ら調べてみよう。また、仮説を立てて科学的に考え、周りの人に説明をしてみよう。

## 第1学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：新しい科学1（東京書籍）

副教材：理科便覧（浜島書店）、中学の理科 合本版①（物理・化学）（教育開発出版）、  
中学の理科 合本版②（生物・地学）（教育開発出版）

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容/教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や実習を含む授業や、レポートなどに積極的・主体的に取り組む。 [主体的に学習に取り組む態度] [思考・判断・表現]</li> <li>・授業プリントの演習や考査などを通じて、知識を活用して、論理的に解答を導き出せるようにする。 [思考・判断・表現]</li> <li>・植物の観察を通じて顕微鏡の使い方やスケッチの仕方を理解し、使いこなせるようになる。 [知識・技能]</li> <li>・植物のつくりについて理解し、適切に分類できるようにする。動物についても分類を行い、理解をする。 [知識・技能]</li> <li>・火山を分類し、火成岩の種類、鉱物などの名称を答えられるようにする。 [知識・技能]</li> </ul>	1. いろいろな生物と その共通点 (1) 生物の観察と 分類のしかた (2) 植物の分類 (3) 動物の分類  2. 大地の成り立ちと変化 (1) 火山	STEAM教育の観点から、他の教科との関連性を踏まえて、下記のような例を取り上げる。  ① 世界の科学者がどのように法則を見出したか。  ② 英語で科学の法則を表す方法  ③ 地球規模で考える環境問題
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や実習を含む授業や、レポートなどに積極的・主体的に取り組む。 [主体的に学習に取り組む態度] [思考・判断・表現]</li> <li>・授業プリントの演習や考査などを通じて、知識を活用して、論理的に解答を導き出せるようにする。 [思考・判断・表現]</li> <li>・地震がおこるしくみを理解する。地層ができるしくみを理解する。 [知識・技能]</li> <li>・金属、白色粉末、気体など身の回りの物質の基本的性質について理解する。 [知識・技能]</li> <li>・状態変化や溶解現象を理解する。 [知識・技能]</li> <li>・ガスバーナーなどの基本的な実験器具を取り扱うことができるようにする。 [知識・技能]</li> </ul>	2. 大地の成り立ちと変化 (2) 地震 (3) 地層の重なりと 過去の変化  3. 身のまわりの物質 (1) 身のまわりの物質と その性質 (2) 気体の性質 (3) 水溶液の性質 (4) 物質の姿と状態変化	④ 自然災害の際に、世界の人々が考えること。 ⑤ 限りある地球の資源について、国際的な取り組み ⑥ 科学的な根拠に基づいた判断の行い方
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や実習を含む授業や、レポートなどに積極的・主体的に取り組む。 [主体的に学習に取り組む態度] [思考・判断・表現]</li> <li>・授業プリントの演習や考査などを通じて、知識を活用して、論理的に解答を導き出せるようにする。 [思考・判断・表現]</li> <li>・光の性質、音の性質、力のはたらきについて理解する。それらに関する実験を行い、正しく操作できるようにする。 [知識・技能]</li> </ul>	4. 身近な物理現象 (1) 光と音 (2) 力のはたらき	⑦ 最先端の科学技術の応用とこれからの暮らし

## 第2学年の学習内容

教科書：新しい科学2（東京書籍）

副教材：理科便覧（浜島書店）、ニューステージ生物図表（浜島書店）、

中学の理科 合本版①（物理・化学）（教育開発出版）、

中学の理科 合本版②（生物・地学）（教育開発出版）

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や実習を含む授業や、レポートなどには積極的に、主体的に取り組む。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 〔思考・判断・表現〕</li> <li>授業プリントの演習や考査などを通じて、知識を活用して、論理的に解答を導き出せるようにする。 〔思考・判断・表現〕</li> <li>単体、化合物、混合物の違い、物理変化と化学変化について理解し、化学式、化学反応式を書けるようにする。 〔知識・技能〕</li> <li>細胞の構造や生物のからだのつくりについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 〔知識・技能〕</li> </ul>	<p>&lt;化学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>物質の成分               <ol style="list-style-type: none"> <li>物質のなり立ち</li> <li>純物質の分離</li> <li>化合物と単体</li> </ol> </li> <li>化学変化と原子・分子               <ol style="list-style-type: none"> <li>化学変化</li> <li>化学変化と物質の質量</li> <li>化学の基本法則</li> </ol> </li> </ol> <p>&lt;生物&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>生活のからだのつくりとはたらき               <ol style="list-style-type: none"> <li>生物と細胞</li> <li>植物のからだのつくりとはたらき</li> <li>動物のからだのつくりとはたらき</li> </ol> </li> </ol>	Scienceに加え、Technology（技術）、Engineering（工学）のトピックスも扱い、最先端の内容を学ぶ。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や実習を含む授業や、レポートなどには積極的に、主体的に取り組む。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 〔思考・判断・表現〕</li> <li>授業プリントの演習や考査などを通じて、知識を活用して、論理的に解答を導き出せるようにする。 〔思考・判断・表現〕</li> <li>原子の構造、イオン、酸と塩基の性質について理解する。 〔知識・技能〕</li> <li>刺激と反応や生物の成長・遺伝のしくみについて理解し、それらの観察などに関する技能を身につける。 〔知識・技能〕</li> </ul>	<p>&lt;化学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>化学変化と原子・分子               <ol style="list-style-type: none"> <li>原子の構造と周期表</li> <li>イオン</li> <li>化学結合</li> </ol> </li> <li>酸・塩基と中和反応               <ol style="list-style-type: none"> <li>酸・塩基の性質</li> <li>中和反応と塩</li> </ol> </li> </ol> <p>&lt;生物&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>生物のからだのつくりとはたらき               <ol style="list-style-type: none"> <li>刺激と反応</li> </ol> </li> <li>生命の連続性               <ol style="list-style-type: none"> <li>生物の成長と生殖</li> <li>遺伝の規則性と遺伝子</li> </ol> </li> </ol>	Scienceに加え、Technology（技術）、Engineering（工学）のトピックスも扱い、最先端の内容を学ぶ。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や実習を含む授業や、レポートなどには積極的に、主体的に取り組む。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 〔思考・判断・表現〕</li> <li>授業プリントの演習や考査などを通じて、知識を活用して、論理的に解答を導き出せるようにする。 〔思考・判断・表現〕</li> <li>酸化還元、電池と電気分解について理解する。 〔知識・技能〕</li> <li>自然界における生物どうしの関わりや物質循環について理解し、自然環境を保全することの重要性を認識する。 〔知識・技能〕</li> </ul>	<p>&lt;化学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>酸化還元反応               <ol style="list-style-type: none"> <li>酸化還元の定義</li> <li>金属のイオン化傾向</li> <li>電池</li> <li>電気分解</li> </ol> </li> </ol> <p>&lt;生物&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>生命の連続性               <ol style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と進化</li> </ol> </li> <li>地球と私たちの未来のために               <ol style="list-style-type: none"> <li>自然のなかの生物</li> <li>自然環境の保全</li> </ol> </li> </ol>	Scienceに加え、Technology（技術）、Engineering（工学）のトピックスも扱い、最先端の内容を学ぶ。

### 第3学年の学習内容

教科書：新しい科学2（東京書籍）、新しい科学3（東京書籍）

副教材：理科便覧（浜島書店）、中学の物理（教育開発出版）、中学の地学（教育開発出版）

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や実習を含む授業や、レポートなどには積極的に、主体的に取り組む。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 〔思考・判断・表現〕</li> <li>・電流と電圧の規則について理解し、抵抗の値を求め、回路について理解を深める。 〔思考・判断・表現〕〔知識・技能〕</li> <li>・電流のはたらきと電流と磁界の関係について理解を深める。 〔思考・判断・表現〕〔知識・技能〕</li> <li>・霧や雲の発生や、前線通過に伴う気象変化を、気象要素や暖気・寒気と関連付けて説明できるようになる。また、日本の天気や気象の特徴を、気団や大気の運動、海洋の影響と関連付けて説明できるようになる。 〔思考・判断・表現〕〔知識・技能〕</li> </ul>	<p>&lt;物理&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電流とその利用               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 電流</li> <li>(2) 電流と磁界</li> </ol> </li> </ol> <p>&lt;地学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気象とその変化               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 気象観測</li> <li>(2) 天気の変化</li> <li>(3) 日本の気象</li> <li>(4) 自然の恵みと気象災害</li> </ol> </li> </ol>	<p>Scienceに加え、<b>Technology</b>（技術）、<b>Engineering</b>（工学）のトピックスも扱い、最先端の内容を学ぶ。</p>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や実習を含む授業や、レポートなどには積極的に、主体的に取り組む。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 〔思考・判断・表現〕</li> <li>・物体にはたらく力を見出し、物体の運動が力と関係していることを理解する。 〔思考・判断・表現〕〔知識・技能〕</li> <li>・エネルギーが保存されることを通して、物体の運動を説明することができる。 〔思考・判断・表現〕〔知識・技能〕</li> <li>・天体の日周運動や年周運動について、地球の自転や公転、地軸の傾きと関連付けて説明し、惑星や衛星の公転と地球からの見え方の関係について、理解する。 〔思考・判断・表現〕〔知識・技能〕</li> </ul>	<p>&lt;物理&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 運動とエネルギー               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 力のつり合いと合成・分解</li> <li>(2) 運動の規則性</li> <li>(3) 力学的エネルギー</li> </ol> </li> </ol> <p>&lt;地学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 地球と宇宙               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 天体の動きと地球の自転・公転</li> <li>(2) 太陽系と恒星</li> </ol> </li> </ol>	<p>Scienceに加え、<b>Technology</b>（技術）、<b>Engineering</b>（工学）のトピックスも扱い、最先端の内容を学ぶ。</p>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーの問題について調べ、それぞれの発電方法の長所短所を理解しながら、これからのエネルギーの活用について考えることができる。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 〔思考・判断・表現〕〔知識・技能〕</li> <li>・地球の特殊性について理解し、持続可能な科学技術の発展と環境の保全について考えることができる。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 〔思考・判断・表現〕〔知識・技能〕</li> </ul>	<p>&lt;物理&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 科学技術と人間               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エネルギー</li> <li>(2) 科学技術の利用</li> </ol> </li> </ol> <p>&lt;地学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 宇宙における地球               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 宇宙の構造</li> <li>(2) 惑星としての地球</li> </ol> </li> </ol>	<p>Scienceに加え、<b>Technology</b>（技術）、<b>Engineering</b>（工学）のトピックスも扱い、最先端の内容を学ぶ。</p>

6年間で目指す学習到達目標

学力向上のみを目標とするのではなく、先進的な研究に興味・関心を持たせようとするような授業を展開し、大学入試だけを目標にしない学問を学ぶ。結果、多くの生徒が理系の道を志し、大学進学への意欲を高め、8割程度の生徒が、研究開発型大学への進学結果を出すことを目指す。上位30%の生徒層は、研究開発型大学の中のトップ層の国公私立大学(医学部を含む)へ合格する学力を身に着けさせる。

学年	前期課程			後期課程		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学習 ステージ	基礎・基本の学習			充実・伸張の学習		
履修	身近な物理現象		電流とその利用 運動とエネルギー 科学技術と人間	<物理基礎2単位>※1 物体の運動とエネルギー 様々な物理現象と エネルギーの利用	<物理6単位>※3 様々な運動 波 電気と磁気 原子	
	身の回りの物質	物質の成分 化学変化と原子・分子 酸・塩基と中和反応 酸化還元反応		<化学基礎2単位>※2 物質の状態と平衡 物質の変化と平衡 有機・高分子化合物	<化学2単位>※3 無機物質の性質 問題演習	<化学基礎 演習 1単位> ※4
	いろいろな生物とその共通点	生物のからだのつくりとはたらく 生命の連続性 地球と私たちの未来のために		<生物基礎2単位> 生物と遺伝子 生物の体内環境の維持 生物の多様性と生態系	<生物6単位>※3 生物の進化と系統 生命現象と物質 遺伝情報の発現と発生 生物の環境応答	<生物基礎 演習 1単位> ※4
	大地の成り立ちと変化		気象とその変化 地球と宇宙 宇宙における地球	<地学基礎2単位>※1 地球のすがた 変動する地球		<地学基礎 演習 1単位> ※4
特記 事項	※1 物理基礎と地学基礎は、 いずれか一方を選択する。 ※2 化学または地歴を選択する。 理系生徒は化学を選択する。 ※3 理系生徒は、化学と、物理・生物の いずれか一つを選択する。 ※4 文系生徒を対象とした共通テスト対策の 選択科目であり、いずれか二つを選択できる。					



1年 年間授業数：53時間

2年 年間授業数：35時間

3年 年間授業数：35時間

## 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のように育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

### 第1学年の目標（何ができるようになるか）

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。 【知識・技能】
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。 【思考・判断・表現】
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにする。 【主体的に学習に取り組む態度】

### 第2学年の目標（何ができるようになるか）

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。 【知識・技能】
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。 【思考・判断・表現】
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ。 【主体的に学習に取り組む態度】

### 第3学年の目標（何ができるようになるか）

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。 【知識・技能】
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。 【思考・判断・表現】
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ。 【主体的に学習に取り組む態度】

## 学習方法（どのように学ぶか）

- ・本時の目標を確認、導入の活動。
- ・教材の内容について教師の発問に答えたり生徒同士で話し合ったりして、理解を深める。
- ・実技や鑑賞。
- ・本時に学んだ内容を振り返り、まとめと次時の目標設定。

## 評価の観点・方法

観点① 知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。			
観点② 思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことに関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。			
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			
	評価の方法\観点	①	②	③
	学習状況観察	◎	◎	◎
	提出物	○	○	◎
	授業内小テスト・実技テスト	◎	◎	○
	定期考査	◎	◎	◎

### 学習のアドバイス

- ・音楽は時間の芸術です。一瞬一瞬が勝負です。いつも集中してそして思い切って表現しましょう。また他人の表現を尊重しましょう。お互いに良いところを認めましょう。
- ・「演奏する」だけでなく「聴く」こともとても大切です。
- ・美しいものを美しいと感じられるようになってほしいと考えています。

## 第1学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：中学生の音楽1、中学生の器楽（教育芸術社）

副教材：ニューコーラスフレンズ（教育芸術社）

	具体的な学習到達目標 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで協力して混声3部合唱を豊かに美しく歌い上げる。</li> <li>・アルトリコーダーの基本的な奏法を身につける。</li> <li>・物語と曲想のかかわりに注意して音楽を聴く。</li> </ul> <p>[知識・技能] [思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌，無限の粒</li> <li>・混声三部合唱曲</li> <li>・エーデルワイス</li> <li>・魔王</li> </ul>	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箏の魅力を感じ取り，基本的な奏法を身につける。</li> <li>・日本歌曲のよさを感じ取り，表現する。①</li> <li>・音色や特徴に気を付けてアジア各地の音楽を聴く。</li> </ul> <p>[知識・技能] [思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくら</li> <li>・六段より初段</li> <li>・浜辺の歌</li> <li>・アジアの諸民族の音楽</li> </ul>	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歌曲のよさを感じ取り，表現する。②</li> <li>・アルトリコーダーの基本的な奏法を身につけ，表現をする。</li> <li>・情景を感じ取り，様式を理解して音楽を聴く。</li> </ul> <p>[知識・技能] [思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤とんぼ</li> <li>・美女と野獣</li> <li>・ヴィヴァルディ 春より</li> </ul>	

## 第2学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：中学生の音楽2・3上、中学生の器楽（教育芸術社）

副教材：ニューコーラスフレンズ（教育芸術社）

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで協力して混声3部合唱を豊かに美しく歌い上げる。</li> <li>・アルトリコーダーの基本的な奏法を身につけ、豊かに表現する。</li> <li>・声部のかかわりを理解して音楽を聴く</li> </ul> <p>[知識・技能] [思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌，無限の粒</li> <li>・混声三部合唱曲</li> <li>・ラバーズコンチェルト</li> <li>・フーガト短調</li> </ul>	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歌曲のよさを感じ取り，表現する。③</li> <li>・アルトリコーダーの基本的な奏法を身につけ，豊かに表現する。</li> <li>・曲の形式を理解して音楽を聴く。</li> </ul> <p>[知識・技能] [思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の思い出</li> <li>・メヌエット</li> <li>・交響曲第5番ハ短調作品67「運命」</li> </ul>	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歌曲のよさを感じ取り，表現する。④</li> <li>・アルトリコーダーの基本的な奏法を身につけ，豊かに表現する。</li> <li>・日本の伝統的な声の特徴を知って音楽を聴く。</li> </ul> <p>[知識・技能] [思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒城の月</li> <li>・ヴィヴァルディ 冬より</li> <li>・長唄「勸進帳」</li> </ul>	

### 第3学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：中学生の音楽2・3下、中学生の器楽（教育芸術社）

副教材：ニューコーラスフレンズ（教育芸術社）

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで協力して混声4部合唱を表現豊かに美しく歌い上げる。</li> <li>・アルトリコーダーの基本的な奏法を身につけ、アンサンブルをする。</li> <li>・音楽の構成を理解して音楽を聴く。</li> </ul> <p>〔知識・技能〕〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混声四部合唱曲</li> <li>・海に見える街</li> <li>・ボレロ</li> </ul>	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箏の魅力を感じ取り、豊かに表現する。</li> <li>・アルトリコーダーの様々な奏法を身につけ、豊かに表現する。</li> <li>・音色や特徴に気を付けて世界各地の音楽を聴く。</li> </ul> <p>〔知識・技能〕〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みだれ</li> <li>・メヌエット(ビゼー)</li> <li>・世界の諸民族の音楽</li> </ul>	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歌曲のよさを感じ取り、表現する。⑤</li> <li>・音楽史を学ぶ。</li> <li>・美しく豊かな合唱で立派な修了式を作り上げる。</li> </ul> <p>〔知識・技能〕〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早春賦</li> <li>・西洋と日本の音楽史</li> <li>・校歌（混声4部合唱）</li> <li>・無限の粒</li> </ul>	

6年間で目指す学習到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

学年 学習 ステージ	前期課程			後期課程	
	1年	2年	3年	4年	※
	<b>基礎・基本の学習</b>				
履修	校歌 無限の粒 合唱祭自由曲 赤とんぼ 浜辺の歌	校歌 無限の粒 合唱祭課題曲 夏の思い出 荒城の月	校歌 無限の粒 合唱祭課題曲 自由曲 早春賦 修了式の合唱	合唱祭課題曲 自由曲 伊語・独語の歌曲 カンタータ第140番より第7曲コラール  (箏) 春の海  グループアンサンブル  パッヘルベルのカノン コードネーム、創作  モーツァルトの作品 オペラ	合唱祭課題曲 自由曲  (大学受験に向けて)  楽典 聴音 新曲視唱・視奏 コールユーズンゲン コンコーネ
	(アルトリコーダー) エーデルワイス 美女と野獣 (箏) さくら 六段 より 初段	(アルトリコーダー) ラバースコンチエルト メヌエット ヴィヴァルディ 四季 より 冬	(アルトリコーダー) 海の見える街 メヌエット(ビゼー)  (箏) みだれ	ボレロ 世界の諸民族の音楽 音楽史	
魔王 アジアの諸民族の音楽 ヴィヴァルディ 四季 より 春	フーガ短調 交響曲第5番「運命」 長唄「勧進帳」				
特記 事項	※応用達成の学習は、音楽大学系・保育系進学希望者のみ、補講の形で行う。				

都立南多摩中等教育学校 美術シラバス

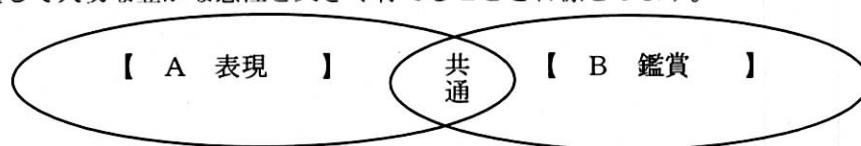
1年	年間授業時間数	:	52	時間
2年	年間授業時間数	:	35	時間
3年	年間授業時間数	:	35	時間

学習目標

- 1 美術の表現や鑑賞活動に積極的に取り組み、心豊かに生活できる感性や態度を育てる。
- 2 対象をじっくり観察し、感性や想像力を働かせ、その良さや美しさを感じ取る力を育成する。
- 4 用途や目的にあった美術的表現を考え、自分の想像したことを具体的に作品に表す思考力・判断力・理解力を高める。
- 5 様々な表現技法に興味・関心を持ち、個性豊かに創意工夫しながら表現しようとする意欲を育てる。
- 6 作品を鑑賞し、作品に表された作者の意図や心情、良さや美しさ、作品の働きを感じ取る力を育てる。

『美術』は自分をA表現（① 純粋芸術：感じ取ったことや考えたことなどを基本に、絵画や彫刻などに表現する分野 ② 応用芸術：伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動）と、自分や他者の表現したものの良さや美しさを感じるB鑑賞という分野があります。

このA表現とB鑑賞の二つの分野を通じて、自分自身を見つめ、他者を理解しようとする力をつけること、そして生涯を通じて大切な豊かな感性を大きく育てることを目標とします。



第1学年の目標(何ができるようになるのか)

育成する資質・能力	
1 鉛筆を使い、対象や事象について見たもの感じたことを造形的に表すことができる。	【知識・技能】
2 色の性質を理解し、混色や表現方法の工夫を自分なりに行うことができる。	【思考力・判断力・表現力】
3 自然の中の造形や美術作品などのよさや美しさを自分の言葉で表現し相手に伝えと同時に、相手の考えや感じたことに興味関心を持ち、心情を汲み取り、理解しようとする事ができる。	【学びに向かう力・人間性】
4 表現活動を通じて発想や構想を練り、工夫を重ねながら作品を完成させることの喜びを感じることができる。	【思考力・判断力・表現力】

第2学年の目標

育成する資質・能力	
1 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、自分の意図に応じて表現方法を考えることができる。	【学びに向かう力・人間性】【知識・技能】
2 自然の中の造形や美術作品の良さや美しさの仕組みを探求し、自分の表現の中に取り入れることができる。	【思考力・判断力・表現力】
3 私たちの生活の中にある機能美と洗練された美しさの調和を感じ、美術の働きについて考えることができる。	【学びに向かう力・人間性】【思考力・判断力・表現力】
4 形や彩色の性質、それらがもたらす感情効果を理解したうえで計画的に作品づくりに活用することができる。	【知識・技能】

第3学年の目標

育成する資質・能力	
1 作品を作るために自ら課題を生成し、積極的に自分の表現に創意工夫を重ね作品を完成することができる。	【学びに向かう力・人間性】【思考力・判断力・表現力】
2 材料の特性を理解し用具の使い方を身に着けるだけでなく、必要に応じて自分の意図をよりよく表現するために活用することができる。	【思考力・判断力・表現力】【知識・技能】
3 表現及び鑑賞の活動を通じて自己実現の目標を持ち、造形的な見方や考え方を豊かに育むことができる。	【思考力・判断力・表現力】【知識・技能】

## 学習方法（どのように学ぶか）

- 1 事前に本時の目標を理解した上で、教材の内容・テーマについて解説を聞き理解する。
- 2 教師の発問に答えたり、生徒同士で話し合ったりして教材の理解を深める。【対話的な学び】
- 3 理解した内容や、習得した技術を用いて、主体的に表現する。【主体的な学び】
- 4 自己や他者の表現した作品を鑑賞し、話し合いや発表を通じて理解する。【深い学び】
- 5 授業の振り返りで、学習内容を再確認し、今後の課題を見つける。

## 評価の観点・方法

観点① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</li> <li>・表現方法を創意工夫し創造的に表している。</li> </ul>		
観点② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの題材に対し、感性や想像力を働かせ豊かに発想し、良さや美しさなどを考え心豊かに創造的な表現の構想を練り課題を解決している。</li> <li>・感性や想像力を働かせ自分や他の人が表現した作品等をじっくりと鑑賞し、作品の良さや工夫を理解することが出来ている。</li> </ul>		
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感性や造形感覚を働かせ、素材や表現技法を理解し、自分の表現意図に応じて創意工夫し、創造的な表現を効果的な方法で行うことが出来ている。</li> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>		
評価の方法\観点	①	②	③
授業観察	○	○	◎
ワークシート・提出物	◎	○	◎
作品・授業内テスト	◎	◎	◎
定期テスト	◎	◎	○

## 学習のアドバイス

- ・課題内容をしっかり把握し、何を学ぶのか考えて制作に取り組みましょう。
- ・いろいろな作品を参考に、様々な方向から考えをめぐらし、表現の内容や方法を工夫しましょう。
- ・作品の制作に使用する用具の扱いには十分気をつけ、安全且つ丁寧に扱うことを心がけましょう。
- ・課題は必ず提出日までに完成できるよう計画的に取り組みましょう。
- ・日々の生活の中にある美術を意識してみましょう。



第1学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：美術 1（開隆堂）  
副教材：表現と鑑賞（開隆堂）

	具体的な学習到達目標 (何ができるようになるか)	学習内容/教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<p>〔思考力・判断力・表現力〕（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高める。</li> <li>対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付ける。</li> </ul> <p>〔知識及び技能〕（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ることができる。</li> </ul> <p>〔学びに向かう力・人間性〕（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他者の立場に立って、伝えたい内容について分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ることができる。</li> </ul>	<p>オリエンテーション</p> <p>鑑賞</p> <p>(1) 作品鑑賞</p> <p>表現（絵・彫刻）</p> <p>「描く活動」</p> <p>(1) デッサン 彩色</p> <p>表現（デザイン・工芸） 鑑賞</p> <p>「描く活動」</p> <p>(1) レタリング</p> <p>(2) 色について</p> <p>(3) 色彩構成</p>	
2 学 期	<p>〔知識及び技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩などの表現を身に付け、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫すること。</li> </ul> <p>〔思考力・判断力・表現力〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて表現の構想を練ること。</li> </ul> <p>〔学びに向かう力・人間性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。</li> </ul>	<p>表現（デザイン・工芸） 鑑賞</p> <p>「つくる活動/描く活動」</p> <p>(1) 伝統美術の鑑賞</p> <p>(2) 作品制作</p> <p>(3) 伝統模様</p> <p>(4) 作品展示と鑑賞</p> <p>表現（絵・彫刻） 鑑賞</p> <p>「つくる活動」</p> <p>(1) 素材を活かした作品づくり</p>	
3 学 期	<p>〔思考力・判断力・表現力〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主題などを基に、全体と部分との関係などを考えて創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</li> <li>材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表現することができる。</li> </ul>	<p>(2) 作品鑑賞</p> <p>表現（デザイン・工芸）</p> <p>(1) 素材の特性を知る</p>	

## 第2学年の学習内容

教科書 : 美術 2・3 (開隆堂)

副教材 : 表現と鑑賞 (開隆堂)

	具体的な学習到達目標	学習内容/教材	特記事項・他
1 学 期	<p>[学びに向かう力・人間性] (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり, それらの作品を鑑賞したりして, 日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるとともに, 諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き, それぞれのよさや美しさなどを味わい, 美術を通じた国際理解を深め, 美術文化の継承と創造への関心を高めること。</li> </ul> <p>[思考力・判断力・表現力] (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象を深く見つめ, 考えたこと, 夢, 想像や感情などの心の世界などを基に, 主題を生み出すこと。</li> </ul> <p>[知識及び技能] (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材料や用具の特性を生かし, 自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。</li> </ul>	<p>オリエンテーション</p> <p>表現 (絵・彫刻) 鑑賞</p> <p>「描く活動」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>デッサン</li> <li>技法練習</li> <li>色彩 (トーン)</li> <li>作品制作</li> </ol> <p>鑑賞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>作品鑑賞</li> <li>美術史</li> </ol>	
2 学 期	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴, 想像したことなどを基に作品を制作する。</li> </ul> <p>[学びに向かう力・人間性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術作品などに取り入れられている自然のよさや, 自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り, 安らぎや自然との共生などの視点から, 生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解すること。</li> </ul>	<p>表現 (絵・彫刻) 鑑賞</p> <p>「つくる活動」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>立体を意識する</li> <li>生活に活かす</li> </ol> <p>表現 (デザイン・絵) 鑑賞</p> <p>「描く活動」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>様々な表現</li> <li>作品制作</li> </ol>	
3 学 期	<p>[学びに向かう力・人間性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用する者の気持ちや機能, 造形的な美しさなどを総合的に考え, 表現の構想を練ること。</li> </ul> <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたい内容を多くの人々に伝えるために, 形や色彩などの効果を生かした表現の構想を練ること。</li> </ul> <p>[学びに向かう力・人間性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>造形的なよさや美しさ, 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫, 調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り, 見方を深め, 作品などに対する自分の価値意識を言葉で表現したり, 共感したりすること。</li> </ul>	<p>表現 (デザイン・絵) 鑑賞</p> <p>「つくる活動」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>素材を活かした作品づくり</li> <li>相互評価</li> <li>遠近法</li> </ol>	

### 第3学年の学習内容

教科書 : 美術 2・3 (開隆堂)

副教材 : 感じる表す 美術 東京都版 (浜島書店)

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	<p>[学びに向かう力・人間性] (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象を深く見つけ、感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出すことができる。</li> </ul> <p>[思考力・判断力・表現力] (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマについて理解を深め、独自の発想を探り、伝えたい内容にふさわしい作品形態や構成、配色や言葉を考えて表すことができる。</li> </ul> <p>[知識及び技能] (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高めること。</li> </ul>	<p>オリエンテーション</p> <p>表現 (デザイン・工芸) 鑑賞</p> <p>「描く活動」</p> <p>(1) ポスターデザイン</p> <p>鑑賞</p> <p>(1) 作品鑑賞 (2) 美術史</p>	
2 学 期	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作者の気持ちや発想、造形的な美しさなどを総合的に考え、作品が作られた背景を探求していくことで、作品理解を深める。</li> </ul> <p>[知識及び技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、発表活動の構想を練ること。</li> </ul> <p>[知識及び技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。</li> </ul>	<p>表現 (絵・彫刻) 鑑賞</p> <p>「描く活動」</p> <p>(1) 作品の技法研究 調べ学習</p> <p>(2) 主題の生成</p> <p>(3) 作品づくり</p> <p>(4) プレゼンテーション</p> <p>(5) 展示 鑑賞 評価</p> <p>表現 (デザイン・工芸) 鑑賞</p> <p>「つくる活動」</p> <p>(1) 動きをつくる アニメーション</p>	
3 学 期	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術作品などに取り入れられている自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解すること。</li> </ul>	<p>(1) 暮らしの中のデザイン</p> <p>(2) 紹介カードの作成</p> <p>(3) 立体作品作成</p> <p>(4) 鑑賞 評価</p>	

6年間で目指す学習到達目標

美術の表現及び鑑賞の幅広い活動を通じて、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てるとともに感性を豊かにする。  
 美術の基礎的な能力を育成するとともに、発展的に視覚リテラシーの向上、美術文化と伝統の理解、美術を通じた国際理解能力の向上、  
 より成熟した情操の育成を目標とする。

学年 学習 ステージ	前期課程 ※1			後期課程	
	1年	2年	3年	4年 ※2	※3
	<b>基礎・基本の学習</b>				
	観賞(絵画・彫刻) 様々な表現の学習 美術史(総合) 表現(絵画・彫刻) 手のデッサン 身近なものを描く	表現(絵画・彫刻) 自画像 人物クロッキー 観賞(絵画・彫刻) 様々な表現の学習 美術史(西洋・日本)	表現(デザイン・工芸) ポスター 三角法 表現(絵画・彫刻) 様々な表現の学習 美術史(西洋・日本)	< 素描基礎 表現・鑑賞 > 鉛筆デッサン基礎技術学習 鉛筆によるグラデーション 基本形態のデッサン	応用達成の学習
履修	表現(デザイン・工芸) レタリング基礎 色の仕組み 平面構成 観賞(デザイン・工芸) 作品鑑賞	表現(デザイン・工芸) 色の仕組み 色の表現・技法 平面構成 観賞(デザイン・工芸) 作品鑑賞	観賞(絵画・彫刻) 絵画の制作背景 芸術家の生涯 調べ学習 プレゼンテーションカード 発表学習	< デザイン基礎 表現・鑑賞 > 色彩論 色相環 トーンについて 色の色彩効果を利用したデザイン 配色計画 色のグラデーションを利用した色彩構成	< 素描応用 表現・鑑賞 > 美術大学実技試験対応 専攻別デッサン練習 作品ファイル作成 等
	観賞(絵画・彫刻) 伝統美術の理解 伝統模様 表現(絵画・彫刻) 屏風をつくる 様々な素材	観賞(デザイン・工芸) 視点による表現 生活の中のデザイン 表現(絵画・彫刻) アニメーション キャラクター	観賞(絵画・彫刻) 調べ学習 絵巻物 表現(絵画・彫刻) 水墨画の基本技法 作品制作	< 彫刻基礎 表現・鑑賞 > 彫像と塑像の特徴と制作工程 立体表現の魅力 自然物の模刻	
	表現(デザイン・工芸) 素材の特徴理解 金属 加工 観賞(デザイン・工芸) レリーフ作品の鑑賞 作品展示	表現(デザイン・工芸) 素材の加工技術理解 布・印 加工 観賞(デザイン・工芸) 透視図法 作品展示	表現(デザイン・工芸) 素材の加工技術理解 木材・漆 加工 観賞(デザイン・工芸) アートカード 作品展示	< 絵画・彫刻・デザイン 表現・鑑賞 > 木製のおもちゃの制作	
特記 事項	※1 1年では美術1を年間52.5時間学習。 2年3年を通じて美術2・3上下を各35時間学習。 ※2 4年での美術選択は美術I(2単位)。 4年の芸術は必修選択。 ※3 応用達成の学習は進路希望者に 対応するもの。				

1年 年間授業時数：105時間

2年 年間授業時数：105時間

3年 年間授業時数：105時間

## 学習目標

- 1 いろいろな運動を経験し、楽しさやおもしろさを知る。
- 2 健康や安全に気をつけながら、友だちと協力して練習やゲームをする。
- 3 自他の健康や安全に関わることに関心をもち、身の周りに起こる事象についてのメカニズムを知り、自己の生活に生かしていく。

### 第1学年の目標（何ができるようになるか）

- 1 いろいろな運動の基礎・基本を学ぶ。 [知識・技能] [思考・判断・表現]
- 2 練習やゲームの方法を工夫して、友だちと協力して取り組む [主体的に学習に取り組む態度]
- 3 大人のからだや心に近づいていく様子や中学生の特徴を知る。 [知識・技能] [思考・判断・表現]

### 第2学年の目標

- 1 いろいろな運動の基礎・基本を学ぶ。 [知識・技能] [思考・判断・表現]
- 2 練習やゲームの方法を工夫して、友だちと協力して互いに教え合う。 [主体的に学習に取り組む態度]
- 3 健康な生活や傷害の発生と防止について知り、自己の生活に生かす。 [知識・技能] [思考・判断・表現]

### 第3学年の目標

- 1 いろいろな運動の基礎・基本を学ぶ。 [知識・技能] [思考・判断・表現]
- 2 練習やゲームの方法を工夫して、友だちと協力して互いに教え合う。 [主体的に学習に取り組む態度]
- 3 健康と環境の関わりや疾病の予防について知り、自己の生活に生かす。 [知識・技能] [態度]

## 学習方法（どのように学ぶか）

### 「身につける、生かす、深める」

- 1 基本的な動きを身につけるための基礎練習やドリルゲームをする。【主体的な学び】
- 2 基礎的な技能（技や動き方）をゲームや発表・競技にどのように生かしていくか、課題を考えた練習や課題ゲームをする。【深い学び】
- 3 ゲームや発表・競技をする中で、気がついたことや直すところを考え、さらに練習に取り組み、ゲームや発表・競技につなげていく。【深い学び】
- 4 保健分野では問題を読み、答えを予想する。なぜ、そのように考えたのか意見を出し合う。説明の「お話」を読み、理解を深める。【深い学び】【対話的な学び】

## 評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動を單元ごとに評価を行う。

観点① 知識・技能	各種の運動の特性や学び方、技能の構造、合理的練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身につけている。健康・安全の意義を理解し、課題解決の基礎的事項を理解し、知識を身につけている。		
観点② 思考・判断・表現	チームや自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルール工夫や作戦・練習・ゲームを工夫している。自他の健康・安全に関する課題解決を目指し、行動を適切に判断している。		
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	各種の運動の楽しさや喜びを味わい、協力して練習やゲームに取り組み、健康・安全に留意して運動しようとする。健康で安全な生活を実践するために、自他の健康・安全に関心をもち、進んで学習に取り組もうとする。		
評価の方法\観点	①	②	③
授業観察	◎	◎	◎
期末考査	◎	◎	○
スキルチェック、実技テスト、発表	◎	◎	○
学習カード、提出物	○	◎	◎

表の◎はもっとも重視する観点

### 学習のアドバイス

- ◇ 運動にふさわしい服装・身だしなみを心がけよう。
- ◇ 授業での約束事を知って、進んで取り組もう。
- ◇ 友だちと協力して準備・後片づけ、練習をしよう。
- ◇ 自分や友だちの安全に気をつけて運動しよう。
- ◇ 見通しをもって時間を意識して動こう。
- ◇ うまくできないときは教科書を見て、それでも解決しないときは先生に聞こう。

## 第1学年の学習内容

教科書： 中学校保健体育（大日本図書）

副教材： 図説中学校体育実技（大日本図書）

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	<p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートの方法や中間疾走を理解して取り組む。</li> <li>・バトンパスの方法を知る。</li> <li>・自分の体力を知る。</li> <li>・体育祭の進め方を知り、各競技の練習に取り組む。</li> </ul> <p><b>[思考・判断・表現]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きの目的を理解し、実践することができる。</li> <li>・基本の動きを身につけ、集団で円滑に動ける。</li> <li>・自分の体力を知る。</li> </ul> <p><b>[主体的に学習に取り組む態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きを覚え、協力して取り組む。</li> <li>・動きの基本を身につける。</li> <li>・基本の動きを身につけ、集団で円滑に動ける。</li> </ul>	<p>集団行動</p> <p>スポーツテスト</p> <p>体づくり運動</p> <p>陸上競技（短距離走・リレー）</p> <p>体育祭練習</p> <p>ダンス</p> <p>水泳（水中運動・クロール）</p>	
2 学 期	<p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きの基本を身につける。</li> <li>・切り返し系の技を2つ以上身につける。</li> <li>・回転系の技を3つ以上身につける。</li> <li>・自分の身体について知り、理解する</li> </ul> <p><b>[思考・判断・表現]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> <li>・自分の身体について知り、理解する。</li> </ul> <p><b>[主体的に学習に取り組む態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> <li>・自分の身体について知り、理解する</li> </ul>	<p>水泳（クロール）</p> <p>バスケットボール</p> <p>ソフトボール</p> <p>サッカー</p> <p>器械運動（跳び箱）</p> <p>保健分野・体育理論</p>	
3 学 期	<p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の楽なペースを身につける。</li> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> <li>・ゲームに必要な技能と簡単なルールを覚える。</li> <li>・自分の身体について知り、理解する。</li> </ul> <p><b>[思考・判断・表現]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> <li>・ゲームに必要な技能と簡単なルールを覚える。</li> </ul> <p><b>[主体的に学習に取り組む態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> <li>・自分の身体について知り、理解する</li> </ul>	<p>持久走</p> <p>バレーボール</p> <p>武道</p> <p>保健分野・体育理論</p>	

## 第2学年の学習内容

教科書：中学校保健体育（大日本図書）

副教材：図説中学校体育実技（大日本図書）

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	<p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、集団で円滑に動ける。</li> <li>・自分の体力を知る。</li> <li>・体育祭の進め方を知り、各競技の練習に取り組む。</li> </ul> <p><b>[思考・判断・表現]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の記録の向上のための基本技能を身につける。</li> </ul> <p><b>[主体的に学習に取り組む態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> </ul> <p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きの基本を身につける。</li> </ul>	<p>集団行動</p> <p>スポーツテスト</p> <p>体育祭練習</p> <p>陸上競技（短距離走・ハードル走）</p> <p>体育祭練習</p> <p>バレーボール</p> <p>ソフトボール</p> <p>水泳（背泳ぎ）</p>	
2 学 期	<p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きの基本を身につける。</li> </ul> <p><b>[思考・判断・表現]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> </ul> <p><b>[主体的に学習に取り組む態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きを覚え、協力して取り組む。</li> <li>・基本の動きの目的を理解し、実践することができる。</li> </ul> <p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切り返し系の技を3つ以上身につける。</li> <li>・回転系の技を4つ以上身につける。</li> </ul> <p><b>[主体的に学習に取り組む態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な環境について関心をもち、生活に合わせて考えることができる。</li> </ul>	<p>水泳（背泳ぎ）</p> <p>サッカー</p> <p>ダンス</p> <p>体づくり運動</p> <p>器械運動（跳び箱・マット）</p> <p>保健分野・体育理論</p>	
3 学 期	<p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の楽なペースを維持しながら記録の向上を目指す。</li> </ul> <p><b>[主体的に学習に取り組む態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なゲームができる。</li> <li>・身近な環境について関心をもち、生活に合わせて考えることができる。</li> </ul>	<p>持久走</p> <p>球技ゲーム</p> <p>武道</p> <p>保健分野・体育理論</p>	



### 第3学年の学習内容

教科書：新版中学校保健体育（大日本図書）

副教材：図説中学校体育実技（大日本図書）

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	<p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、集団で円滑に動ける。</li> <li>・自分の体力を知る。</li> </ul> <p><b>[思考・判断・表現]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭の進め方を知り、各競技の練習に取り組む。</li> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> </ul> <p><b>[態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の記録向上のための技能を身につける。</li> </ul> <p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きの基本を身につける。</li> <li>・礼法と基本動作を身につける。</li> <li>・傷害や病気の要因や予防を理解し、健康な生活を考える。</li> </ul>	<p>集団行動</p> <p>スポーツテスト</p> <p>陸上競技 (短距離走・走り高跳び)</p> <p>体育祭練習</p> <p>バスケットボール ソフトボール サッカー(フットサル)</p> <p>水泳(平泳ぎ)</p> <p>武道(柔道・剣道・薙刀)</p> <p>保健分野・体育理論</p>	
2 学 期	<p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きの基本を身につける。</li> <li>・礼法と基本動作を身につける。</li> </ul> <p><b>[態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> </ul> <p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きの目的を理解し、実践することができる。</li> <li>・傷害や病気の要因や予防を理解し、健康な生活を考える。</li> </ul>	<p>水泳(バタフライ)</p> <p>武道(柔道・剣道・薙刀)</p> <p>サッカー(フットサル) バスケットボール</p> <p>体づくり運動</p> <p>保健分野・体育理論</p>	
3 学 期	<p><b>[態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の動きを身につけ、簡単なゲームができる。</li> </ul> <p><b>[知識・技能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の楽なペースを維持しながら記録の向上を目指す。</li> </ul> <p><b>[態度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なゲームができる。</li> <li>・傷害や病気の要因や予防を理解し、健康な生活を考える。</li> </ul>	<p>サッカー(フットサル)</p> <p>持久走</p> <p>球技ゲーム</p> <p>保健分野・体育理論</p>	

6年間で目指す学習到達目標

生涯を通じて、自他の健康の保持増進に努め、また自ら運動する態度を養う。  
 発達段階に応じた体力向上を図り、健康・安全について理解し、適切に対応できる力を身につける。  
 生涯に渡って運動に親しむ習慣や健康の保持増進に努める力を身につけ、また協調性や社会性を養う。

学年	前期課程			後期課程		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学習 ステージ	基礎・基本(色々なスポーツを経験・反復)					
履修	・集団行動 ・体ほぐし運動 ・体の動きを高める運動	・体ほぐし運動 ・体の動きを高める運動	・体ほぐし運動 ・実生活に生かす運動の計画	・体づくり運動	・体づくり運動	《種目選択体育》 選択Ⅰ期 ・男子バスケットボール ・バドミントン ・卓球 ・女子サッカー ・テニス ・ゴルフ
	・陸上 ・短距離 ・リレー ・持久走	・陸上 ・短距離 ・ハードル ・持久走	・陸上 ・短距離 ・走り高跳び ・持久走	・陸上競技 ・混成二種 ・持久走	・陸上競技 ・持久走	・卓球 ・女子サッカー ・テニス ・ゴルフ
	・器械運動 ・跳び箱	・器械運動 ・マット運動		・器械運動 ・マット運動	・テニス ・バドミントン	
	・水泳 ・水中運動 ・クロール	・水泳 ・水中運動 ・背泳ぎ	・水泳 ・水中運動 ・平泳ぎ・バタフライ導入	・水泳 ・平泳ぎ・クロール ・バタフライ	・水泳 ・バタフライ ・背泳ぎ・平泳ぎ	・水泳 ・個人メドレー ・体づくり運動、体育理論
	・ダンス ・武道	・ダンス ・武道	・武道 ・柔道or剣道 ・なぎなた	・武道 ・柔道or剣道 ・なぎなた	・創作ダンス	選択Ⅱ期 ・男女ハレーボール ・バドミントン ・卓球 ・テニス ・男子ソフトボール ・ゴルフ
	・ソフトボール ・サッカー	・サッカー ・ソフトボール	・ソフトボール ・サッカー/フットサル	・サッカー ・バレーボール	・ソフトボール ・サッカー ・バスケットボール	選択Ⅲ期 ・女子バスケットボール ・バドミントン ・卓球 ・テニス ・男子サッカー ・ゴルフ
	・バレーボール ・バスケットボール	・バレーボール ・バスケットボール	・バスケットボール ・バレーボール		・バスケットボール	
	・体育理論	・体育理論	・体育理論	・体育理論	・体育理論	
	・保健分野 (心身の発達と 心の健康)	・保健分野 (健康な生活、 傷害の防止)	・保健分野 (健康的な生活と 病気の予防)	・保健 (現代社会と健康)	・保健 (生涯を通じる健康) (社会生活と健康)	
	特記 事項	※1年から5年まで2月にマラソン大会を実施している。 ※1年から6年の1学期まで水泳授業を実施している。 ※6年では、水泳以外は、種目選択し、種目別グループ学習を実施している。 ※3・4年で習得する武道は、男子は柔道・剣道のどちらからかを選択、女子はなぎなたを行う。そのための基礎内容として、1・2年で武道(柔道・剣道・なぎなた)を実施する。				

1年 年間授業時数：70時間（技術35時間，家庭35時間）

2年 年間授業時数：70時間（技術35時間，家庭35時間）

## 学習目標

### 技術分野

技術分野では、生活を楽しく豊かにしていくために、生活に必要な基礎的な知識と技術を学習しながら、そのための考え方や態度を身に付けていきます。実際にものづくりをしたり、コンピュータ操作をしたりして、その基礎的な技術を身に付けます。ものづくりを計画し、準備し、製作していく過程でいろいろと工夫して、自分なりの新しい考えを出したり、生活の中に取り入れたりしようとする態度を身に付けていきましょう。

#### 第1学年の目標（何ができるようになるか）

- ・ 材料と加工に関する基礎的な知識や技術・実践力を身に付け、生活の中で活かすことができる。
- ・ 製作を通して必要な作業計画を立て、安全に注意して正確な加工をして完成させることができる。
- ・ 制作した作品や作業を振り返り、評価することで、技術が社会に与える影響について考えることができる。

#### 第2学年の目標

- ・ 電気エネルギーの利用や、電気回路のはたらきについて基礎的な知識を身に付ける。
- ・ エネルギー変換を利用した製作実習を通して、創造能力の向上をはかる。
- ・ それらのことを通じて、自ら学び、考えられる力を身に付ける。

### 家庭分野

家庭分野は、生活に関わることを学びます。一人一人が生活者として、日々の生活を創造し、家族や周囲の人々、また生活を取り巻く環境について考えながら活動していくことができ、主体的な取り組みができることを目標として学習していきます。

自らの生活の自立とその意義を理解し、自ら学習することができることを目指します。さらに社会や生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決策を考え、それを計画、実践、評価・改善する態度が大切です。

#### 第1学年の目標（何ができるようになるか）

- ・ 家族・家庭生活、衣生活、住生活に関する基礎的な知識や技能を身に付け、科学的な理解を図り、生活の中で生かし、創意工夫できる。

#### 第2学年の目標

- ・ 食生活、消費生活に関する基礎的な知識や技能を身に付け、科学的な理解を図り、生活の中で生かし、創意工夫できる。

## 学習方法（どのように学ぶか）

- ・ 授業の目標を理解し、各自で積極的に考え、発言する。
- ・ ワークシートに記入しながら、その時間の内容を確認するようにする。
- ・ 自分の生活を見つめ、課題や問題点を調べ、解決法を考える。その中で、学んだ知識や技術を実践的に生かすようにする。レポート作成や課題発表などを行う。

## 評価の観点・方法（技術・家庭分野共通）

観点① 知識・技能	学習及び実習の作業手順や時間を見通して、自分なりの方法を考え、工夫することができる。  実習に際し、必要な用具を適切に使用し、安全に配慮しながら、適切な操作ができる。			
観点② 思考・判断・表現	人の生活や環境に関する知識を身につけ、自分の生活と関連づけて考え、説明することができる。			
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	自分や家族の生活に関心を持ち、意欲的に学び、技術を修得し、実践しようとする。			
	評価の方法\観点	①	②	③
	学習状況観察	○	○	○
	課題などの取り組みと提出状況	○	○	○
	実験・実習の技能・取り組み	◎	○	◎
	定期考査 小テスト	○	○	○

### 学習のアドバイス

- ◇ 自分や家族の生活に関心を持ち、社会における技術の役立ち・役割を考えよう。
- ◇ 学んだ知識や技術を生活の中で生かしてみよう。
- ◇ 見通しをたて、自分なりの課題をもって学習し、実習に取り組もう。
- ◇ 新聞を読み、社会の事象に関心を持とう。
- ◇ 地域や日本の生活文化に目を向けてみよう。

第1学年の学習内容 技術分野 (何を学ぶか)

教科書：新編新しい技術・家庭 技術 分野 (東京書籍)

	具体的な学習到達目標 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の材質や特徴を製品の用途や目的を通して理解することができる。</li> <li>・かいわれ大根の水耕栽培について理解し、育て、観察記録をレポートでまとめる。</li> <li>・キャビネット図、等角図、正投影図について理解し、正しく書くことができる。</li> <li>・作業の方法を理解し、簡単な木製品が作れる。</li> </ul>	<p>木材の性質と利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材と生活、木材の特徴</li> <li>・木材の種類と構造、木材の変形・強さ</li> <li>・簡単な水耕栽培に挑戦</li> </ul> <p>製作図のかき方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャビネット図、等角図、投影図</li> </ul> <p>簡単なものづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収納トレーの製作</li> </ul>	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木製品の加工方法や工具の使用が理解できる。</li> <li>・製作図の見方を知り、作業方法や順序がわかる。</li> <li>・製作図をもとに安全に注意し、正しく作業ができる。</li> </ul>	<p>木材を使った正確なものづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業方法について けがき、切断、部品加工、組立て</li> </ul> <p>工夫点を考えて生活に役立つ製品を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作図を正確に理解する</li> <li>・作業方法を理解しながら製作しよう</li> </ul>	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装や表面処理の手順を理解し、美しく仕上げることができる。</li> <li>・木材以外の材料について特性を理解できる。</li> </ul>	<p>仕上げについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研磨・塗装</li> </ul> <p>製作のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作品について反省とまとめをしよう</li> <li>・木材以外の材料について知ろう</li> </ul> <p>生物・育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物を育てる技術を知ろう</li> </ul>	

第1学年の学習内容 家庭分野 (何を学ぶか)

教科書：新編新しい技術・家庭 家庭 分野 (東京書籍)

副教材：家庭科ワークノート 衣生活・住生活と自立 (地域教材社)

	具体的な学習到達目標 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項他
1 学 期	<p>家族・家庭生活の機能を理解する。 繊維・織物について理解し、衣服購入に生かす。</p> <p>衣生活の基礎的な知識と技術を身に付ける。</p>	<p>家族・家庭生活</p> <p>衣生活</p> <p>着る目的</p> <p>衣服の計画的な活用方法</p> <p>繊維の種類と特徴</p> <p>織物の種類と特徴</p> <p>衣服の手入れ</p> <p>洗濯 (夏休み課題)</p>	
2 学 期	<p>ミシンの操作を理解し、正しく使用できる。</p> <p>被服製作実習の基本的な知識を身に付ける。</p> <p>被服製作の手順書により、リバーシブルバッグの構造、作り方を理解し、技術を身に付ける。</p>	<p>基本的な被服製作実習 (リバーシブルランチバッグ)</p>	
3 学 期	<p>住居の機能を理解する。</p> <p>快適な住空間の条件を知る。</p> <p>家庭内事故を防ぐことができる。</p> <p>家族・地域に関する知識を身に付ける。</p> <p>家族と子どもの関係を理解する。</p> <p>幼児の生活を理解し、遊びの意義を考える。</p> <p>離乳食、幼児食を理解し、調理する。</p>	<p>住生活</p> <p>住まいのはたらき</p> <p>快適で安全な住まい</p> <p>住環境と生活</p> <p>家族と地域</p> <p>幼児の生活と遊び</p> <p>幼児の発達</p> <p>子どもと家族</p> <p>幼児食の特徴と調理</p>	

第2学年の学習内容 技術分野

教科書：新編新しい技術・家庭 家庭 分野 (東京書籍)

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気の基礎知識を理解し、回路図がかける。</li> <li>電気の安全な使い方を理解する。</li> <li>作業方法を正しく知り、延長コードが製作できる。</li> <li>回路計を使って、回路の検査ができる。</li> </ul>	<p>電気回路のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路について</li> <li>電気の基礎知識、直流と交流</li> <li>回路図</li> </ul> <p>エネルギーを取り出す技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発電について</li> <li>電気の安全な使い方</li> </ul> <p>電気エネルギーの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>光熱、動力としての利用</li> </ul> <p>電気実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延長コードの製作とテスターによる点検</li> </ul>	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子部品について理解できる。</li> <li>簡単な回路のしくみがわかる。</li> <li>正しく正確な作業ができる。</li> </ul>	<p>電子部品を使った回路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回路のはたらきを考えた設計</li> <li>電子部品について</li> <li>回路実験</li> </ul> <p>エネルギー変換実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオの製作</li> </ul>	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ放送のしくみについての知識を理解する。</li> <li>学んだ知識をもとに簡単な照明器具が確実に作れる。</li> </ul>	<p>エネルギー変換実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ放送のしくみについて</li> <li>簡単な照明器具の製作</li> <li>運動を伝える仕組みについて</li> </ul>	

## 第2学年の学習内容 家庭分野

教科書：新編新しい技術・家庭 家庭 分野 (東京書籍)

副教材：家庭科ワークノート 食生活と自立 (地域教育社)

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	食事の意義を理解し、食文化の伝承を理解する。 栄養素の働きを理解し、バランスのとれた食事ができる。 基本的な調理の作業ができる。	食生活 ・食事の役割 ・日本の食文化と行事食 ・栄養素の種類と働き ・食事摂取基準 ・調理の基本	
2 学 期	主な郷土料理、世界の料理の特徴を知る。(オ) 簡単な日常食の調理ができる。 食品の特徴と調理上の性質を理解する。 食品表示を理解し、安全な食生活を考える。	・地域と食文化 ・日常食の調理 ・献立と食品の選択 ・安全な食生活	
3 学 期	契約、販売方法等について理解し、消費者トラブルを回避する。 環境に配慮した消費行動ができる。	消費生活 消費と契約 販売方法と支払方法 消費者トラブル 悪質商法 消費者の権利と責任 消費と環境	



6年間で目指す学習到達目標

生活に必要な知識・技術を習得し、生活力を高める。  
人間の発展と生涯を見通した生活の営みを総合的にとらえ、家庭・家族の意義と社会とのかかわりについて理解する。  
ものづくりを計画し、準備し、制作していく過程でいろいろと工夫をし、考え、生活の中に取り入れられる態度を身に付ける。

学年 学習 ステージ	前期課程			後期課程		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	<b>基礎・基本の学習</b>					
履修	<p>&lt;技術分野&gt; 木材の性質と利用 製作図のかき方 簡単なものづくり 木材をつかった 正確なものづくり 生活に役立つ製品作り 生物・育成について</p>	<p>電気回路 エネルギーを取り出す技術 電気エネルギーの利用 電気実習 電子部品を使った回路 エネルギー変換実習 運動のしくみ</p>				
	<p>&lt;家庭分野&gt; 衣生活 基本的な被服製作実習 住生活 家族と地域 幼児の特徴と調理</p>	<p>食生活 消費生活</p>				
				<b>充実伸張の学習</b>		
				<p>※情報科 &lt;情報と科学&gt;にて一部内容を発展的に学ぶ(4学年)</p>		
				<p>&lt;家庭基礎 2単位&gt; 青年期と自立 食生活と健康 被服管理と着装 住居と住環境 消費生活と経済計画 ライフスタイルと環境 子どもの発達と環境</p>		
特記事項						

1年 年間授業時数：140時間

2年 年間授業時数：140時間

3年 年間授業時数：140時間

## 学習目標

本校の英語科の目標

- 国際的な感覚と教養を持ち、実践的に英語を活用してコミュニケーションを図ることができる。
- 聞く、話す（やり取り・発表）、読む、書くの4技能（5領域）について、偏りのない英語力を身につける。
- 幅広い文章を理解し、それに対する自分の意見を表現することができる。

前期課程の目標（何ができるようになるか）

- 五感を活用し、英語でのコミュニケーションに、間違いを恐れず積極的に取り組む姿勢を養う。  
【知識・技能】【学びに向かう力・人間性】
- 予習→授業→復習のサイクルを確立し、後期課程にスムーズに接続できるよう、学習習慣を身につける。  
【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】

## 学習方法（どのように学ぶか）

- 4技能（5領域）をバランスよく伸ばしていくよう意識する。【対話的な学び】【主体的な学び】【深い学び】
- 学習内容が身につけているか、小テスト(Review Test、Vocabulary Contest など)にて定期的に確認する。  
【深い学び】
- 内容定着のため、「毎日ノート」を全学年で行い、学習習慣の定着を図る。【主体的な学び】
- ネイティブスピーカーの先生と、間違いを恐れず、直接英語でコミュニケーションをとる。【対話的な学び】
- 教科書の他に副教材(New Treasure)を使用し、学習内容の定着と発展的な学習に取り組む。【深い学び】
- 文法学習を軽視せず、「なぜそうなるのか」論理的に深く考えながら、体系的に学習する。【深い学び】

## 評価の観点・方法

観点① 知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる 【学びに向かう力・人間性】		
観点② 思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりできる。 【思考力・判断力・表現力】		
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手、話して、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。 【思考力・判断力・表現力】		
評価の方法\観点	①	②	③
学習状況観察	○	○	◎
提出物	○		◎
授業内小テスト・実技テスト・	◎	◎	○
定期考査	◎	◎	

### 学習アドバイス

- 英語はコミュニケーションの道具です。授業中は間違いを恐れず、口・耳・目を使い積極的に参加しよう。
- 疑問点は授業中や授業前後に質問し、その日のうちに解決しよう。(わからないものをそのまま放置しない)
- 必ず毎日、短時間でもとにかく英語に触れることが大切です。毎日ノートは習慣として欠かさず取り組もう。
- 予習→授業→復習の黄金サイクルを確立しよう。週末課題やワーク等の課題は自分の力を試すチャンスです。
- 文法学習は「なぜそうなるのか」理由を論理的に説明できるように。(何となく…など「わかったつもり」に要注意)
- 本文のCDを活用し、家でも英語の音声に触れ、音読練習やディクテーション等に取り組もう。
- 日々的小テスト(Review Test等)は間違い直しも含めしっかり取り組み、学んだことを確実に定着させよう。

## 第1学年の学習内容 (何を学ぶか)

教科書：NEW HORIZON 1

副教材：NEW TREASURE -third edition- Stage 1、NEW TREASURE 文法問題集、Active Phonics

Jack 21 標準編 英語 vol.1、英和・和英辞書(各自購入 \*推薦辞書あり)、Welcome to Tokyo Basic

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<p>〔知識・技能〕 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語やその背景にある文化や社会に関する知識を深めることができる。</li> <li>英語でのコミュニケーションにおいて必要な基本的な単語や文法を習得することができる。</li> </ul> <p>〔思考力・判断力・表現力〕 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語を聞いて、情報を整理しながら考えを形成することができる。 (聞くこと)</li> <li>英語を読んで、情報を整理しながら考えを形成することができる。 (読むこと)</li> <li>場面に応じて、既習事項を用いて適切なやり取りをすることができる。 (話すこと[やり取り])</li> <li>既習事項を用い、自分の考えや意見を伝えることができる。 (話すこと[発表])</li> <li>長文読解を通し、文章や情報を正確に読み解く力を身に付けるとともに、科学的思考や現実の問題を解決に導く力を身に付ける。 (読むこと[STEAM教育])</li> </ul> <p>〔学びに向かう力・人間性〕 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日ノートを有効活用し、学習習慣を身に付ける。</li> <li>コミュニケーションの素地を養い、英語を使う楽しさを体感することができる。</li> </ul>	<p><b>NEW TREASURE 1</b></p> <p>Lesson 1 ~ 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>be 動詞の文</li> <li>形容詞</li> <li>一般動詞の文</li> <li>人称代名詞</li> <li>指示代名詞</li> <li>代名詞の目的格</li> <li>疑問詞 (who / what / where / when)</li> <li>3人称単数現在形</li> </ul>	
2 学 期	<p>〔思考力・判断力・表現力〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感情を込めて80語程度の物語を朗読できる。(Recitation Contest) (話すこと[発表])</li> <li>既習事項を用い、自分の考えや意見を論理的に書くことができる。 (書くこと)</li> </ul>	<p><b>NEW TREASURE 1</b></p> <p>Lesson 5 ~ 9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>疑問詞 (whose / which / how)</li> <li>所有代名詞</li> <li>How+形容詞・副詞~?</li> <li>命令文</li> <li>助動詞 can</li> <li>現在進行形</li> <li>動作動詞と状態動詞</li> <li>一般動詞の過去形(規則・不規則)</li> </ul>	
3 学 期	<p>〔思考力・判断力・表現力〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英検 4 級程度、GTEC for Students Core 440 点程度の英語力を身につける。(聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り])</li> <li>簡単な日本の紹介文を英語で書き、それをスピーチとして発表することができる。 (話すこと[発表])</li> </ul>	<p><b>NEW TREASURE 1</b></p> <p>Lesson 10 ~ 11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>be 動詞の過去形</li> <li>過去進行形</li> <li>it の特別用法</li> <li>特別用法の it</li> <li>疑問詞 (how / why)</li> <li>未来形</li> <li>There 構文</li> </ul>	

## 第2学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：NEW HORIZON 2

副教材：New Treasure -third edition-1・2、文法問題集1・2、英和辞書(各自購入 \*推薦辞書あり)、  
Jack 21 標準編 英語 vol.1・vol.2、Welcome to Tokyo Basic

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<p>[知識・技能] 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語やその背景にある文化や社会に関する知識を深めることができる。</li> <li>英語でのコミュニケーションにおいて必要とされる基本的な単語や文法、また発展的な事項を習得することができる。</li> </ul> <p>[思考力・判断力・表現力] 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語を聞いて、情報を整理しながら考えを形成することができる。(聞くこと)</li> <li>まとまりのある文章を読み、速読しながら概要を理解し設問に必要な情報を読み取ることができる。(読むこと)</li> <li>まとまりのある文章を読んで、情報を整理し、それに関する自分の考えを形成することができる。科学的思考や現実の問題を解決に導く力を身につける。(読むこと)</li> <li>身近な話題について、相手とその場で即興でやり取りができる。(話すこと[やり取り])</li> </ul> <p>[学びに向かう力・人間性] 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日ノートを有効活用し、学習習慣を身に付ける。</li> <li>コミュニケーションの素地を養い、英語を使って自分の意見を伝えようとする。</li> </ul>	<p><b>NEW TREASURE 1</b></p> <p>Lesson11～12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>There 構文</li> <li>可算名詞と不可算名詞</li> <li>同等比較(as+原級+as)</li> <li>比較級と最上級</li> </ul> <p><b>NEW TREASURE 2</b></p> <p>Lesson1～2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>等位接続詞</li> <li>感嘆文</li> <li>副詞節(時・条件・理由・譲歩)を導く従位接続詞</li> <li>名詞節を導く接続詞 that</li> <li>助動詞(shall、should 等)</li> </ul>	
2 学 期	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を活用し、身の回りのことや関心のあるテーマについて、自分の意見や考えを相手に伝えることができる。(書くこと・話すこと[発表])</li> </ul>	<p><b>NEW TREASURE 2</b></p> <p>Lesson3～6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>品詞と文型(SV,SVC, SVO)</li> <li>文型(SVOO,SVOC)</li> <li>to 不定詞(基本3用法)</li> <li>時制の一致</li> <li>動名詞</li> <li>受動態</li> <li>不定代名詞の用法</li> </ul>	
3 学 期	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感情を込めて 300 語程度の物語を朗読できる。(Recitation Contest) (話すこと[発表])</li> <li>英語の長文を読み、その内容を日本語(英語)で要約できる。(読むこと・書くこと)</li> <li>英検3級程度、GTEC for Students Core で505点程度の英語力をつける。 (聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り])</li> <li>既習事項を活用し、日常に関する様々なテーマについて自分の意見や考えを適切に書くことができる。 (書くこと)</li> </ul>	<p><b>NEW TREASURE 2</b></p> <p>Lesson7～9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了形 /現在完了進行形</li> <li>名詞の分類 (集合・物質・抽象・固有名詞など)</li> <li>再帰代名詞</li> <li>分詞による修飾</li> </ul>	

### 第3学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：NEW HORIZON 3

副教材：New Treasure -third edition-2、文法問題集2、英和・和英辞書(各自購入 \*推薦辞書あり)、

Jack 21 標準編 英語 vol.2、Welcome to Tokyo Basic、PYXIS Reading Note Vol.2、PYXIS English Vol.2

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<p>[知識・技能] 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語やその背景にある文化や社会に関する知識を深めることができる。</li> <li>英語でのコミュニケーションにおいて必要な基本的な単語や文法、また発展的な事項を習得し、それを用いて話したり書いたりできる。</li> </ul> <p>[思考力・判断力・表現力] 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵や写真に合う適切なストーリーを即興で考え、相手に伝えることができる。(話すこと[やり取り])</li> <li>まとまりのある英語を聞いて、情報を整理しながら考えを形成することができる。(聞くこと)</li> <li>まとまりのある文章を読み、速読しながら概要を理解し設問に必要な情報を読み取ることができる。(読むこと)</li> <li>まとまりのある文章を読み、それに関する自分の考えを形成することができる。(読むこと)</li> <li>長文読解を通し、文章や情報を正確に読み解く力を身に付けるとともに、科学的思考や現実の問題を解決に導く力を身に付ける。(読むこと[STEAM教育])</li> </ul> <p>[学びに向かう力・人間性] 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日ノートや問題集を有効活用し、自ら学習する習慣を身に付ける。</li> <li>海外研修旅行に向け、目的意識を持って学習に取り組み、既習事項を用いて英語でコミュニケーションを取ろうとする態度を身に付ける。</li> </ul>	<p>1学期 <b>NEW TREASURE 2</b></p> <p>Lesson 9～12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前置修飾、後置修飾</li> <li>分詞による修飾</li> <li>関係代名詞 (主格、所有格、目的格)</li> <li>仮主語 it の構文</li> <li>SV0 + to 不定詞</li> <li>疑問詞+to 不定詞</li> <li>too～to…/～enough to… 構文</li> <li>原形不定詞 ・間接疑問</li> <li>付加疑問 ・仮定法過去</li> <li>高校入試問題演習</li> </ul> <p>2学期 <b>PYXIS Reading Note</b></p> <p>&lt;中学3年間の総復習&gt;</p> <p>Lesson 1～12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時制 ・接続詞 ・助動詞</li> <li>文型 ・文の種類</li> <li>不定詞・動名詞(基礎)(発展)</li> <li>受動態(基礎)(発展)</li> <li>現在完了形・現在完了進行形</li> <li>名詞、代名詞</li> </ul> <p>レシテーションコンテスト</p>	
2 学 期	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感情を込めて自分の伝えたいことや偉人のスピーチ等を朗読できる。(Recitation [Speech] Contest) (話すこと[発表])</li> </ul> <p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学英語を総復習し、自分の弱点を把握し、前期課程3年間の既習事項を定着させる。</li> <li>高校入試レベルの問題で7割以上得点できる程度の英語力を身に付ける。</li> </ul>		
3 学 期	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英検準2級程度、GTEC for students Basic 590点程度の英語力をつける。(聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り])</li> <li>自分の興味のある人物や物事について、分かりやすく読み手を惹き付ける120語程度の文章を書き、発表することができる。(書くこと・話すこと[発表])</li> </ul>	<p>Lesson 13～21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分詞 ・関係代名詞</li> <li>不定詞(発展)</li> <li>原形不定詞・関係疑問</li> <li>比較 ・否定表現</li> <li>形容詞副詞・仮定法</li> <li>スピーキングテスト (外部検定試験対策)</li> </ul>	

## 学習目標

本校のデータ分析科の目標・・・「情報社会での基盤形成 統計の理解と活用」

- I 情報モラル…SNS等の利用の注意点や著作権について、事例をもとに考察し、自身の行動につなげることができる。【主体的に学習に取り組む態度】
- II プログラミング…プログラミングの基本的な仕組みについて理解し、実践できる。【知識・技能】
- III ソフトウェアの活用…表計算ソフトやプレゼンテーションソフトを活用して、データを適切な方法で表現し、伝達することができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】
- IV 数学の知識…標準偏差・分散・相関係数などの統計の基礎を理解し、算出できる。【知識・技能】
- V データの分析力…既存のデータおよび自身で取得したデータを図表化し、現象を考察できる。【思考・判断・表現】
- VI 学習内容の活用…学んだことをFW活動などで活用する姿勢を持つ。【主体的に学習に取り組む態度】

- ・数学科、理科、FW活動等、各教科や社会でのつながりを意識し、基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身につけ、情報社会で必要な思考力・判断力を育てましょう。(STEAM教育の基盤)
- ・数学的、科学的な思考力・判断力・表現力を伸ばすために、言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて問題を解決したり、自分の考え方をわかりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合うことができるようになりましょう。
- ・情報モラルやデータ分析の理解を深め、自分の生活に生かしていくことを心がけましょう。

## 学習方法 (どのように学ぶか)

今日の授業のねらいの理解→課題の説明や講義

→課題の解決や各ソフトウェアの実習【主体的な学び】【対話的な学び】

→解説や共有【対話的な学び】【深い学び】→振り返り【深い学び】

## 評価の観点・方法

観点① 知識・技能	プログラミングの基本的な仕組みを理解する。II 表計算およびプレゼンテーションソフトの基本的な操作を理解する。III 標準偏差や分散など統計の基礎を理解し、算出できる。IV			
観点② 思考・判断・表現	データを適切な方法で表現し、伝達することができる。III 既存のデータおよび自身で取得したデータを図表化し、現象を考察できる。V			
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	協働して課題を解決できる。相互に建設的な助言ができる。I～VI 情報モラルに関する学習を、自身の行動につなげられる。I 学んだことを積極的に活用する姿勢を持てる。III・VI			
	評価の方法\観点	①	②	③
	授業内での演習の様子	○		◎
	定期考査	◎	◎	
	課題の提出	○	◎	◎
	課題の発表		◎	◎
	毎回の授業の振り返り			○

## 学習のアドバイス

- ・3年生にとっては、授業の進み方がこれまでと比べるととても早いです。授業中は、何がこの時間の目標となっているのかしっかり理解し、演習活動に取組みましょう。
- ・授業は1～3年生の数学科の内容を理解している前提です。数学の復習を大切にしてください。
- ・わからないことは積み残さない姿勢が大切です。まず授業中に質問しましょう。先生だけではなく、クラスのメンバーにただちに聞くこともひとつの方法です。聞かれた人は、教えることで自分の理解を確認でき、表現力をつけるチャンスになります。
- ・学習した内容を、他教科での学習や、自身・地域・世界の課題（SDGs）解決に、どのように活用できるか考えながら授業を受けてみましょう。実際に活用できると、学ぶことがさらに面白くなると思います。

## 第3学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：

副教材：理数探究基礎（数研出版）・パーフェクトガイド情報（Office2021 対応）（実教出版）

体系数学3 論理・確率編（数研出版）

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	<p><b>【知識・技能】</b> 表計算ソフトを使用できる。Ⅲ 標準偏差や分散など統計の基礎を理解し、算出できる。Ⅳ</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 情報モラルに関する学習を、自身の行動につなげられる。Ⅰ</p>	<p>◎情報の基礎（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決</li> <li>・情報モラル（SNS）(オ)</li> <li>・情報ネットワーク</li> </ul> <p>◎データ分析の基礎（8）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分散，標準偏差</li> <li>・表計算ソフト（関数）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の選択と発信（文化・する）</li> <li>・選手のデータと選択（スポーツ・する）</li> </ul>
2 学 期	<p><b>【知識・技能】</b> プログラミングを理解する。Ⅱ 表計算ソフトを使用できる。Ⅲ</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> 目的意識を持って、プログラミングを 実践し、データを取得できる。Ⅱ 既存のデータおよび自身で取得したデ ータを図表化し、考察できる。Ⅴ</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 協働して課題を解決できる。相互に建 設的な助言ができる。Ⅰ～Ⅵ</p>	<p>◎情報の基礎（7）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ</li> <li>・情報モラル（セキュリティ）</li> <li>・プログラミング</li> <li>・センサーの活用</li> </ul> <p>◎データの処理と表現（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフト（グラフ）</li> <li>・相関</li> <li>・変量の変換と偏差値</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動や行動の予測（スポーツ・学ぶ）</li> </ul>
3 学 期	<p><b>【知識・技能】</b> 仮説検定の考え方を把握する。Ⅳ 公的データを取得できる。Ⅴ</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> データを適切な方法で表現し、伝達す ることができる。Ⅲ 既存のデータおよび自身で取得したデ ータを図表化し、考察できる。Ⅴ</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性】</b> 学んだことを積極的に活用する姿勢 を持てる。Ⅲ・Ⅵ</p>	<p>◎情報の基礎（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル（著作権）</li> </ul> <p>◎データの収集と分析（9）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公的なデータの活用</li> <li>・プレゼンテーションソフト</li> <li>・仮説検定の考え方</li> <li>・区間推定の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手のデータと選択（スポーツ・する）</li> <li>・オリジナル教材を扱う</li> <li>・各種検定や共通テストを取り扱う。</li> </ul>

# 高大接続改革が求める力への対応

(前期課程)

1年		大学入学共通テストが求める力				
求められる力 各教科の取り組み	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性	
国語科	・定期考査 ・小テスト	・文学的な文章の読解 ・作文 ・創作俳句	・感想文 ・作文	・読書ノート	・グループワーク ・教え合い	
数学科	・定期考査 ・Mathテスト	・数式内容の理解	・方程式の独自問題作成 ・数式による表現	・学習内容への主体的関わり ・自然現象への興味	・グループワーク ・教え合い学習	
英語科	・小テスト(Review Test) ・単語テスト(Vocabulary Contest) ・定期考査	・Question & Answer, True or False ・文法的構構の他者への説明 ・定期考査、課題考査での初見問題	・テーマに沿った英作文と、そのSpeech ・Recitation Contest ・Interview Test	・Question & Answer, True or False ・テーマに沿った英作文課題と、そのSpeech ・毎日ノートへの取り組み	・ペアワーク、グループワーク ・授業内での教え合い ・放課後講習(生徒間の教え合い) ・簡単なディスカッション	
社会科	小テスト・定期テスト 白地図ワーク	・課題への多面的・多角的な思考 ・与えられた課題の考察	・考察した課題を、他者へ説明 ・グループワークの内容を発表 ・定期考査等での記述問題	・学習内容に対して疑問をもち、調査・考察しようとする姿勢	・グループワーク ・授業内での教え合い	
理科	・定期考査 ・小テスト	・科学的事象・現象の理解 ・問題演習への取り組み ・発展的学習への取り組み	・授業プリントへの記述 ・自主レポートの作成	・学習内容への主体的関わり ・自然現象への興味 ・自主レポートの作成 ・実験・実習・課題への取り組み	・グループワーク ・教え合い学習 ・実験実習等の協働作業	
FW	・アポの取り方、礼状の書き方	・疑問をもち、考える	・ポスターセッションの手法	・地域調査の計画と実践	・グループで協力し、行動	

2年		大学入学共通テストが求める力				
求められる力 各教科の取り組み	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性	
国語科	・定期考査 ・小テスト	・文学的な文章の読解 ・作文 ・創作俳句	・感想文 ・作文 ・レポートの書き方	・読書ノート ・主体的な学習への取り組み	・グループワーク ・教え合い	
数学科	・定期考査 ・Mathテスト	・数式内容の理解	・数式・グラフによる表現	・学習内容への主体的関わり ・自然現象への興味	・グループワーク ・教え合い学習	
英語科	・小テスト(Review Test) ・単語テスト(Vocabulary Contest) ・定期考査	・簡単なディスカッション(ディベート) ・文法的構構の他者への説明 ・定期考査、課題考査での初見問題	・自由英作文課題と、そのSpeech ・Recitation Contest ・Interview Test	・簡単なディスカッション(ディベート) ・自由英作文課題と、そのSpeech	・ペアワーク、グループワーク ・放課後講習(生徒間の教え合い) ・簡単なディスカッション(ディベート)	
社会科	小テスト・定期考査 プリント演習問題	・課題への多面的・多角的な思考 ・与えられた課題の考察	・調査内容の他者への説明 ・グループワークの内容を発表 ・課題レポート	・日々の予習・復習 ・グループワークで積極的に活動 ・疑問に対してすぐに調査・質問する姿勢	・グループワーク ・授業内での教え合い	
理科	・定期考査 ・小テスト	・科学的事象・現象の理解 ・問題演習への取り組み ・発展的学習への取り組み	・授業プリントへの記述 ・自主レポートの作成	・学習内容への主体的関わり ・自然現象への興味 ・自主レポートの作成 ・実験・実習・課題への取り組み	・グループワーク ・教え合い学習 ・実験実習等の協働作業	
FW	・調査方法の検討考察の仕方	・対象を知り、解説をする。	・モノ語りの冊子を作る	・自分でフィールドを決め、調査する。		

3年		大学入学共通テストが求める力				
求められる力 各教科の取り組み	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性	
国語科	・定期考査 ・小テスト	・論理的な文章の読解 ・文学的な文章の読解 ・創作俳句	・説得力のある話し方 ・論理的な文章を書く	・読書ノート ・仮説を立て、検証する過程を学ぶ	・グループワーク ・教え合い	
数学科	・定期考査 ・Mathテスト、Calc(計算)テスト	・多面的な解法の検討(グループワーク)	・定期考査、小テストでの添削	・学習内容への主体的関わり ・自然現象への興味	・グループワーク ・授業内での教え合い	
英語科	小テスト(Review Test) Spelling Contest 定期考査	Reading Test 定期考査(リスニング含む)	小テスト(Review Test) Speech Contest Recitation Contest 定期考査	・日々の予習・復習 ・毎日ノートへの取り組み ・授業の振り返り、分からないことをすぐに解決する姿勢(授業後の質問を含む)	・ペアワーク ・グループワーク ・授業内での教え合い	
社会科	小テスト・定期考査 プリント演習問題 既習事項の活用	・課題への多面的・多角的な思考 ・与えられた課題の考察 ・学習事項を発展させ、新たな課題を発見	・調査内容の他者への説明 ・グループワークの内容を発表 ・課題レポート ・ディスカッションで自分の考えを根拠に基づいて説明	・日々の予習・復習 ・グループワークで積極的に活動 ・疑問に対してすぐに調査・質問する姿勢	・グループワーク ・授業内での教え合い ・ディベート ・グループディスカッション	
理科	・定期考査 ・小テスト	・科学的事象・現象の理解 ・問題演習への取り組み ・発展的学習への取り組み	・授業プリントへの記述	・学習内容への主体的関わり ・自然現象への興味 ・実験・実習・課題への取り組み	・グループワーク ・教え合い学習 ・実験実習等の協働作業	
FW	・科学的検証方法の理解	・身近なものを取り上げ、積極的に検証をする。	・パワーポイント、エクセルの習得	・自らの力で問題を追及する。	・仲間で議論し、批評をしよう。	